

ビーム サントリー Proof Positive



今年もProof Positive の躍進を祝う

当社の信念は、企業は自分たちを取り巻く世界にポジティブな影響を与えるべきだということです。

プレミアムスピリッツの世界的リーダーとして、またサントリーグループの一員として、**自然と調和しながら、人々に豊かな体験を創造することで、人間の生命の輝きをめざすという目的に導かれています。**

この理念はサントリーのビジネスの根幹をなすものであり、利益を追求するだけでなく、ポジティブな影響とインパクトを与えることに注力するよう私たちを導きます。これは当社のサステナビリティ戦略「Proof Positive」に具現化されており、より持続可能で公平な未来に積極的に貢献する責任ある企業として、どのように活動するか の指針となっています。



内容

前書き

- 3 当社について
- 4 2022年のハイライト
- 5 CEOからの手紙
- 6 新たな目的、価値観、行動様式
- 7 Proof Positive
- 8 Proof Positiveの背後にある構造

Nature Positive (環境への取り組み)

- 9 自然から刺激を受けた精神 当社のコミットメントも同様です
- 10 水
- 12 気候
- 15 森林と農地
- 17 容器・包装

Consumer Positive (消費者への取り組み)

- 20 責任ある消費文化
- 21 情報に基づく選択
- 23 消費者情報
- 24 消費者のための低アルコールとノンアルコール製品オプション

Community Positive (地域社会への取り組み)

- 25 インクルージョンの精神の育成
- 26 従業員
- 31 私たちの産業
- 33 地域社会

Doing Business the Right Way (正しく事業を行う)

- 36 Doing Business the Right Way (正しく事業を行う)
- 37 誠実な企業活動

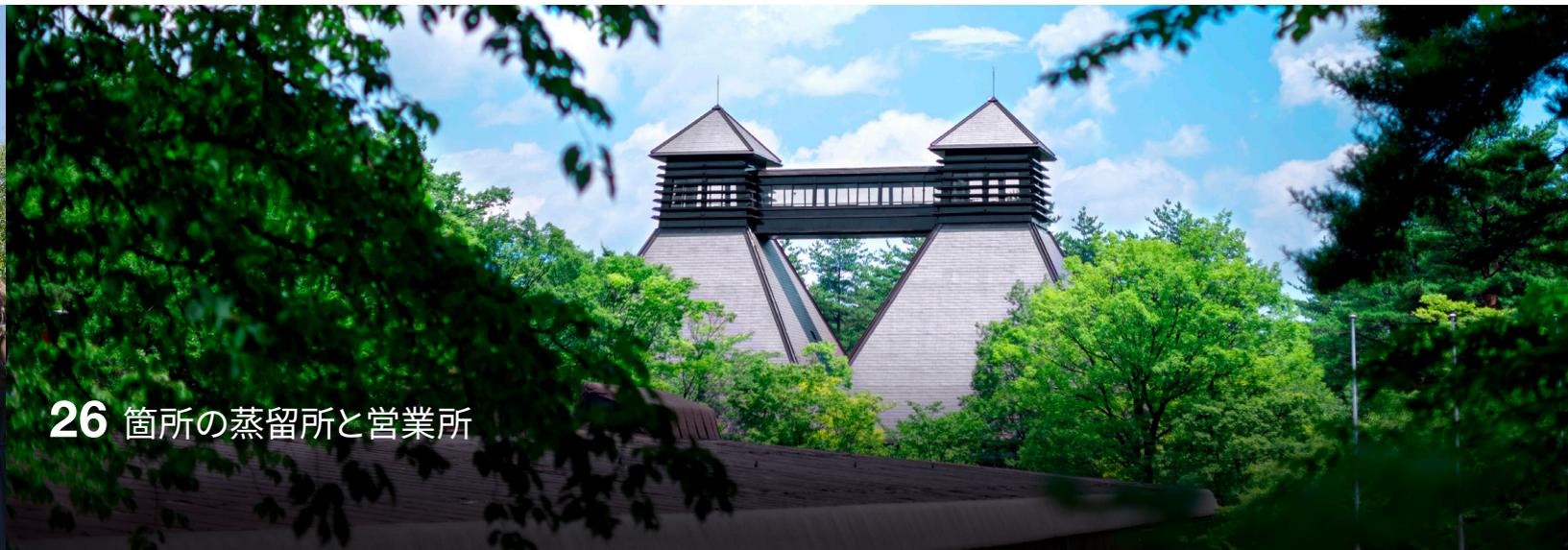
当社について

プレミアムスピリッツの世界的リーダーであるビームサントリーは、ワールドクラスのブランドポートフォリオを通じて素晴らしい消費者体験を提供することで、人間の生命の輝きをめざしています。

6,000人以上の従業員



26 箇所の蒸留所と営業所



30 の事業所



105 の象徴的なブランドファミリー。ウイスキー、コニャック、テキーラ、ジン、ウォッカ、コーディアルやレディ・トゥ・ドリンクなど



78 当社の製品が販売されている国の数



2022年のハイライト*



自然

10%削減 会社事業所全体の水の消費量
15,652m³の水 水不足の流域に補給

アガベ、トウモロコシ、ブドウ、大麦および小麦の再生可能農業のパイロット事業が進行中

スコープ1および2の温室効果ガスの排出量を絶対値で~3%減少

197,000本の木を世界中で植樹

一次包装は容積で88%がリサイクル可能 ポートフォリオ全体



消費者

500万ドルの投資 責任主導のプログラミング

2800万人 日本でのDrink Smartキャンペーンに参加した人数

世界中の出荷量の8%に栄養データと年齢制限をシンボルまたは文章でパッケージに記載

4つの低アルコールとノンアルコール (ABV) 製品 2021年以来導入



地域社会

37%は女性 世界中のリーダーシップ役職を占める割合

1.5%の増加 米国での多様性代表者

平均88%の参加率 会社全体のエンゲージメント動向調査

12,260時間 世界中でなされたボランティア時間

20の選ばれる企業賞 12か国で受賞

* サントリースピリッツ(株)を除くレガシー・ビーム事業所のハイライト。

CEOからの 手紙

世界中で愛されるブランドを持つアルコール飲料企業として、「Doing Business the Right Way (正しく事業を行う)」ことは常にビームサントリーのDNAの一部となってきました。

責任ある製品マーケティングから、精巧に造られたスピリッツの持続可能な調達の確保、インクルージョンの文化の構築まで、これらは世界で最も賞賛されるプレミアムスピリッツ企業になるという当社の野心的目標を達成するための重要な要素です。

今年、私たちは人間の生命の輝きをめざすという新しい目的を発表し、Growing for Good、やってみはなれ、利益三分主義という当社の価値観に加えました。私たちにとって新しい概念ではありませんが、この企業理念の再定義は、当社の大志をさらに導くものです。

長期的に持続可能な成長による「Growing for Good」

ビームサントリーは、2022年に好調な業績を達成しました。これは、当社のスピリッツ・ポートフォリオをプレミアム化し、量よりも価値を重視し、当社を世界のレディ・トゥ・ドリンクのリーダーとして位置づけるという戦略を反映したものです。地政学的緊張、サプライチェーンの混乱、記録的なインフレ圧力など、大きな課題にもかかわらず、このような業績を達成することができました。

当社は持続可能な未来に向けて投資しています。2022年には、ケンタッキー州のBooker Noe蒸溜所に4億ドルを投資し、「Jim Beam®」の世界的な生産能力を増強するとともに、二酸化炭素排出量を50%削減するなど、生産能力の拡大、品質の向上、持続可能性の実現に向けて過去最高額の設備投資を行いました。

また、ニューヨークの新グローバル本社の扉を開き、流行の最先端に行く多様な都市にチームを戦略的に配置しました。ロンドンに新オフィスを開設し、2023年にはシンガポール、台湾、パリにもオフィスを開設するなど、都市に焦点を当てた戦略の一環として、従業員と消費者の距離を縮めています。

Proof Positiveの柱に関する2022年の進捗：

Nature+ 当社は、事業所全体の水使用量を10%削減し、直接事業所におけるスコープ1と2の温室効果ガス排出量を1.5%削減しました。トウモロコシ、小麦、アガベからブドウ、大麦に至るまで、原材料の生産に取り組む再生可能農業のパイロット事業を実施中です。

Consumer+ 当社は、約300の在庫管理単位 (SKU) のラベルにマクロ栄養情報を追加しました。2022年の当社の出荷量の8%に、栄養データ、ならびに飲酒運転、未成年者の飲酒、妊娠中の飲酒を警告する記号や文言を容器包装に記載しました。

Community+ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョンの目標を引き続き推進しました。強力な報酬慣行とガバナンスを堅持し、従業員が公正かつ公平に報酬を得ていることを誇りに思います。実際、今年、給与公平性に関するある調査の結果、ビームサントリーは公平な賃金支払い雇用主であることが確認されました。

より持続可能な未来を築き続ける

この報告書はある一時点しか示しませんが、社会貢献しポジティブな影響を与えるという当社の長い伝統と理念を基に築き上げてきたことを示す誇り高い印です。

当社はサステナビリティと完璧さを追求することは似ていると考えています。それは、私たちが自然に対して、消費者や従業員に対して、そして地域社会に対して、長期にわたってプラスの影響を与え続けることを再考し、洗練させていく継続的なプロセスなのです。

そして、当社の戦略とビジネスを前進させるために揺るぎない意志を持ち続けている私たちのチームに感謝したいと思います。



Albert Baladi
社長兼最高経営責任者



新たな目的、 価値観、 行動様式

ビームサントリーの社員全員が、成長を実現し、企業文化を築き上げ、社会に積極的に貢献する役割を担っています。

東洋と西洋の文化をルーツとするビームサントリーは、さまざまな人々が集うことで、その総和以上のものが生まれるという信念を体現しています。これまで以上に、私たちは**組織の壁を乗り越えています**。

ビームサントリーの目的、価値観と行動

最も重要なのは、私たちの目的が組織のトップだけでなく、組織全体の全従業員を巻き込むことです。ここでは、私たちの目的、価値観と行動をご紹介します。

私たちの目的

自然との調和の中で、人々に豊かな体験を創造することによって、人間の生命の輝きをめざす。

私たちの価値観

Growing for Good

私たちは包括的に成長することを約束します。当社のリーチ、事業展開、そしてグローバルな影響を拡大しつつ、すべての関係者に利益をもたらし、社会に貢献することを目指します。

「やってみなはれ」

常識に挑戦する信念と不可能を夢見る勇気をもって、私たちは失敗を恐れず、粘り強く大胆な目標を追求します。イノベーションは容易ではありませんが、前進することで道は開けます。

利益三分主義

当社は、事業と従業員の発展のためだけでなく、より良い社会と環境のために利益を再投資します。当社は、自分たちが生活し働く地域社会の人々の生活を豊かにするために、時間と技術を捧げます。

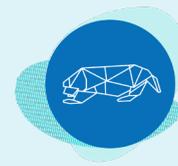
私たちの行動

サントリーリーダーシップ考動項目と呼ばれる私たちの行動は、サントリーグループ全社に共通する一連のコンピテンシーで卓越したパフォーマンスを定義しています。これらの行動は、従業員の「どのように (How)」を精査するために使用され、目標(「何を (What)」)に対するパフォーマンスと同等のウェイトを占めます。



やってみなはれ

開拓者精神、コミットメント、強い意志を持って行動し、価値を創造して結果を出す。成功や失敗から学び、実験を通してイノベーションを育む。



お客様志向・現場発想にする

消費者、顧客、同僚のニーズを把握し、価値を創造し提供するため、新たな機会を特定するために、ゲンバ的思考で行動する。



組織の壁を乗り越える

チームや境界を越えて、他者と協調して仕事をする。多様な視点を奨励し、サイロを壊し、階層を越えて働き、集団の力を活用する包括的な文化を創造する。



中長期視点も踏まえた機敏な判断・考動

将来の可能性を予測し、会社全体を視野に入れ、差し迫ったニーズと長期的な展望のバランスをとる。私たちの価値観である「Growing for Good」という観点から、適切な計画を策定する。



人を育てる・自らも育つ

自分自身と他者の成長に対するコミットメントを実践する。個人的なウェルビーイングやキャリアと、組織の目標とのバランスを取りながら、全体的かつ長期的なアプローチをする。

Proof Positive

どのようにビジネスを行うかは、何を行うかと同じくらい重要です。当社は、環境を保護し、消費者が責任ある選択ができるようにし、バリューチェーン全体でインクルージョンとエクイティを促進することを決意しています。

Proof Positive戦略は、より持続可能で公平な未来へのロードマップであり、地球、消費者、従業員、地域社会に対して最終的にポジティブな影響を与えるための計画です。Proof Positiveの目標は、国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」に沿ったもので、サントリーグループの「サステナビリティ・ビジョン」に由来しています。

Consumer Positive (消費者への取り組み)

情報に基づく選択 | 消費者情報 | 選択肢の拡充

当社は、未成年の飲酒を含む有害な飲酒を減らすために社会全体で取り組み、合法的飲酒年齢 (LDA) に達している成人の間で、魅力的で包括的、かつ責任ある消費文化を育むために努力しています。



Nature Positive (環境への取り組み)

水 | 気候 | 森林と農地 | 容器・包装

当社は、社会と環境にプラスの影響を与えることを目指し、水、気候、森林と農地、容器・包装のフットプリントを削減し、生態系とその生物多様性の保護・再生に取り組んでいます。



Community Positive (地域社会への取り組み)

従業員 | 私たちの産業 | 地域社会

私たちは、ビジネス、操業、そして地域社会において、インクルージョン、ダイバーシティ、エクイティを深めた文化を継続的に育み、私たちが働き、生活する地域社会にプラスの影響を与えるために、スキル、時間、リソースを提供することに取り組んでいます。



Proof Positiveの背後にある構造

ビームサントリーおよびサントリーグループ全体では、説明責任はトップから始まります。

エグゼクティブ・リーダーシップ・チームからサステナビリティ専門チーム、そしてマネージャーやチームに至るまで、連鎖するそれぞれのリンクが、Proof Positive戦略、そして私たちの価値観や行動を実践し、同僚に同じ行動をとるよう促す責任を負っています。

持続可能性をビジネスに組み込む方法

当社は、環境を保護し、消費者が責任ある選択ができるようにし、バリューチェーン全体でインクルージョンとエクイティを促進することを決意しています。



- ・サプライチェーン
- ・地域的サステナビリティリード
- ・対象分野の専門家



- ・研究開発
- ・広報とコミュニケーション
- ・ブランド&コマーシャルチーム



- ・グローバルな擁護者
- ・従業員インパクト・グループと国際的な支援者ネットワーク

ビームサントリーのグローバル・サステナビリティ・リーダーシップチームが牽引
常にベストプラクティスに専念する

サントリーグループのサポート
人と自然との共存という創業時の約束を守る

グローバル・サステナビリティ委員会
グローバルARS (責任ある酒類とサステナビリティ) 委員会

ビーム サントリー

Nature Positive (環境 への取り組み)

このセクションでは

- 10 水
- 12 気候
- 15 森林と農地
- 17 容器・包装

私たちの精神は自然から刺激を受けています。当社のコミットメントも同様です。

製造工程で使用する水や、マッシュビルやレシピに使用する作物から、樽の材料となる木に至るまで、当社が製品を製造するために使用する原料の多くは自然からもたらされています。

何世代にもわたって楽しみ、愛される象徴的なブランドを作り上げることは、それを可能にする自然と生物多様性を保護し、再生することを意味します。種まきからお客様が飲用するまでのライフサイクル全体にわたるコミットメントであって、土壌、水、森林から汲み上げる瞬間から、パッケージングの決定、消費者の体験に至るまで、影響を軽減するよう努めています。

SDGsへの貢献

当社はSDGsを、水の保全と補給、生物多様性の支援、再生可能エネルギーとリサイクル可能なパッケージングへの投資、サプライチェーン全体への再生可能農業の導入による排出量削減など、今後の活動の優先分野を特定するために活用しています。



水

当社が製造するすべてのボトルの背後には、人の手が付けられていない、信頼できる高品質な水の供給があります。この水なくして、消費者が期待する体験を提供することはできません。私たちはこの重要な資源を、直接事業所周辺の地域社会と共有しています。

目標*	目標年	ベースライン年	ベースラインデータ	2021年に対する2022年の進捗	ベースラインに対する2022年の進捗	状況
2030年までに水使用量を単位あたりで50%削減。	2030	2015	22.5kl/kl	10%削減 (12.4kl/kl)	45% (12.4kl/kl)	●
当社の直接事業で使用する以上の水を、水不足の流域に補充する。	2040	2019	0m ³	6,223m ³	15,652m ³	●
天然水の保全地区イニシアティブにより流域の持続可能性を保護し、改善する。	2040	2019	0 ヘクタール	64 ヘクタール	6,626 ヘクタール	●

● 軌道に乗っている ● 軌道から外れている

当社は、リスクの高い流域で消費する水の量を削減し、補充することで、直接事業所における水の使用量のバランスをとることを約束します。当社はより効率的な設備や方法を使用するとともに、次世代のために自然の水源地を涵養し、保護していきます。

水使用量の削減

当社は2030年までに水使用量を半減させるという意欲的な目標を掲げています。

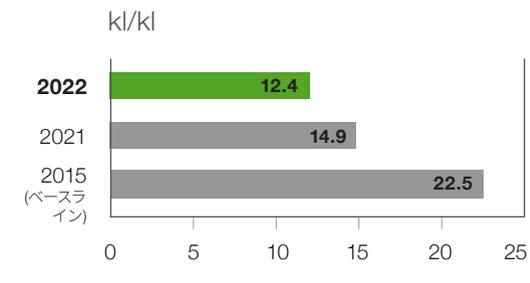
2022年のアニュアル・インセンティブ・プランには、2021年比で水使用量を5%削減するという目標が含まれていました。ケンタッキー州のクレモント蒸留所とBooker Noe 蒸溜所に循環型冷却システムを導入し、目標を上回る10%の削減を達成しました Jim Beam®の蒸留所であるケンタッキー州クレモント工場に導入したシステムでは、敷地内の湖から再循環させる水の量を月平均3,500万ガロン以上削減しました。

2023年には、スペインとスコットランドで循環型冷却システムへの追加投資を継続する予定です。これらの投資により、冷却に使用する水の量を最適化・削減し、流域の健全性に与える全体的な影響を低減します。

当社は、直接事業所における水のフットプリントを最小限に抑える努力を続けています。特にインドとメキシコの水不足リスクの高い流域では、製品に接触しない用途にプロセス水を再利用しています。私たちはこのプロセス水を回収、処理し、有益に再利用することで、効率を改善し、これらの帯水層への影響を低減しています。

継続的な改善を推進するためのベストプラクティスを特定し、実施するための専門チームがいます。計量、漏水検知、水使用による直接的・間接的影響の把握は、当社のアプローチの基本要素です。当社は、直接事業所全体で水を削減するための15の機会領域を特定し、2023年以降の事業全体でこれらの領域に取り組むためのベストプラクティス・ガイドンスを開発しています。

事業所全体における水の使用量*



事業所全体での水使用量の削減

蒸留所の冷却システムは、水使用量の主な要因のひとつです。直接事業所全体で200台以上のメカニカル・シール・ポンプが機器の冷却のために水を使用しており、年間総水使用量の3%以上を占めています。

私たちの現場チームと改善チームは、封水の必要性を減らし、場合によっては不要にする解決策を特定しました。これらの変更により、今後3~5年間で全世界で年間1,300万ガロンの水使用量を削減でき(1.2%削減)、年間30万ドル以上の節約につながると見込んでいます。



* サントリースピリッツ(株)を除くレガシー・ビーム事業所のハイライト。

リスクの高い流域にある直接事業所で使用する水を補充する

私たちは水資源を直接事業所周辺の地域社会と共有しています。私たちは水の管理人としての役割を真摯に受け止め、特に水リスクや水不足に直面している地域の流域の保護と補充に取り組んでいます。

2022年、当社はリムノテック社と提携し、当社の製造拠点全体で流域リスク評価を実施しました。この評価により、メキシコ、インド、フランス、スペインの6つの製造拠点(当社の年間生産量の14%を占める)がリスクの高い流域にあることが判明しました。また、大麦/麦芽、ブドウ、トウモロコシ、アガベ、サトウキビ、小麦、ライ麦など、農業サプライチェーンにおける主要原材料の流域リスク評価も完了し、これらの原材料の優先度の高い調達地域を特定しました。

メキシコへの継続的な投資とともに、フランス、インド、スペインのリスクの高い流域への将来的な投資の方向性を示すロードマップを作成し、自然ベースの涵養ソリューションの特定に取り組んでいます。

メキシコでは、Casa Sauza®がカヒティラン微小流域の修復におけるCharco Benditoプロジェクトの提携企業として認定され、2022年には流域内に15,652立方メートルの涵養を行い、2020年以来32,500立方メートルを超える涵養を行っています。

この流域イニシアティブは、飲料業界の環境サステナビリティ向上業界団体(BIER)および他の製造企業8社との共同作業で、森林再生、土壌保全、帯水層涵養活動を通じて、レルマ・サンティアゴ流域の土地の回復と保護に重点を置いています。

ナチュラルウォーターサンクチュアリの保護

当社が使用する水は、蒸留所にたどり着くまでの間に何層もの岩石や鉱物を通過してろ過されます。これらの岩と鉱物は、当社のお酒に独特の品質をもたらしています。

サントリーグループは、ナチュラルウォーターサンクチュアリプログラムを通じて、水をろ過する土地の保全に貢献することで、これらのユニークな特性を保護し、近隣の地域

社会にとって持続可能で質の高い水を確保するために不可欠な活動を行っています。このプログラムは、水質と持続可能性へのサントリーの献身的な取り組みと、サントリーグループが日本に21カ所持つ「天然水の森」にヒントを得ています。

当社のナチュラルウォーターサンクチュアリプログラム



米国:
Maker's Mark
ナチュラルウォーターサンクチュアリおよび
Jim Beamナチュラルウォーターサンクチュアリの提携

スコットランド:
ピートランドウォーターサンクチュアリ

日本:
21の天然水の森



スコットランド・ピートランドを回復させて生物多様性を保護する

2022年には、王立鳥類保護協会(RSPB)とパートナーシップを結び、スコットランドの泥炭地を復元することを発表しました。これは、親会社であるサントリーホールディングスと2021年に開始した400万ドルをかけた共同保全プロジェクト「ピートランド・ウォーター・サンクチュアリ™(PWS)」イニシアティブの第2段階の開始を意味します。このイニシアティブは、二酸化炭素の吸収を促進し、生物多様性を保護するものです。

当社は、スコットランドのイースト・エアシャーにあるRSPBのエアーズ・モス保護区において、4年間で約395エーカーの泥炭地を回復・再生させるために54万ドル以上を拠出します。最初の1年間は大規模なフィールドワークを行い、調査と分析を完了して再生計画を立案します。

この修復は、2021年11月にアードモア蒸留所付近の泥炭地を回復・保護する作業から始まったPWSイニシアティブの第一段階の成功の上に成り立っています。それ以来、ジェームズ・ハットン研究所とフォレストリー&ランド・スコットランドとの協力により、約13ヘクタールの泥炭地の回復に成功しています。



気候

当社を象徴するブランドに対する現在および将来の需要に持続的に応えるため、バリューチェーン全体で温室効果ガス排出量を削減し、カーボンネットゼロを達成することを約束します。当社は再生可能エネルギーへの移行と事業の脱炭素化によって、この目標を達成します。

目標*	目標年	ベースライン年	ベースライン・データ	2021年に対する2022年の進捗	ベースラインに対する2022年の進捗	状況
直接事業所からの スコープ1および2 の温室効果ガス排出量を50%削減。	2030	2019	259 ktCO ₂ e (絶対値)	-3.0% (絶対値)	-16.9% (絶対値)	●
温室効果ガス原単位			0.55 ktCO ₂ e/kl (原単位)	-3.9% (原単位)	-22.6% (原単位)	
スコープ1、2、3の温室効果ガス排出量を30%削減する。	2030	2019	895 ktCO ₂ e (絶対値)	+3.9% 増加 (絶対値)	+4.5% 増加 (絶対値)	●
温室効果ガス原単位			1.91 ktCO ₂ e/kl (原単位)	+2.9% (原単位)	-2.6% (原単位)	

● 軌道に乗っている ● 軌道から外れている

* サントリースピリッツ(株)を除くレガシー・ビーム事業所のハイライト。

ネット・ゼロへの道のり

当社は直接事業所全体(スコープ1および2)で温室効果ガス排出量を削減するアプローチを固め、バリューチェーン全体(スコープ1、2、3)でも同様の取り組みを進めています。バリューチェーン全体でネット・ゼロを達成することは、当社がビジネスとして直面する最大の課題のひとつであると理解しています。しかし当社は、継続的な改善を推進するサプライヤーとの協力的パートナーシップ、技術革新への投資、再生可能エネルギーと素材の利用拡大を通じて、ビジネスのあり方を再構築し、この大胆な野心的目標を達成することを約束します。

2022年、当社は直接事業所からのスコープ1および2の温室効果ガス排出量を3% (2021年比)、2019年の基準値に対しては、約17%削減しました。これらの削減は、効率性の向上と再生可能エネルギーへの投資によって達成されました。

しかし、バリューチェーンからのスコープ1、2、3の温室効果ガス排出量は3.9% (2021年比)増加、2019年の基準値に対しては、4.5%増加しました。これらの増加は、生産量の増加とバリューチェーン全体の脱炭素化速度が遅かったことが主な要因です。

当社は低炭素ソリューションへの投資と導入を継続し、脱炭素戦略について主要サプライヤーと協力しています。

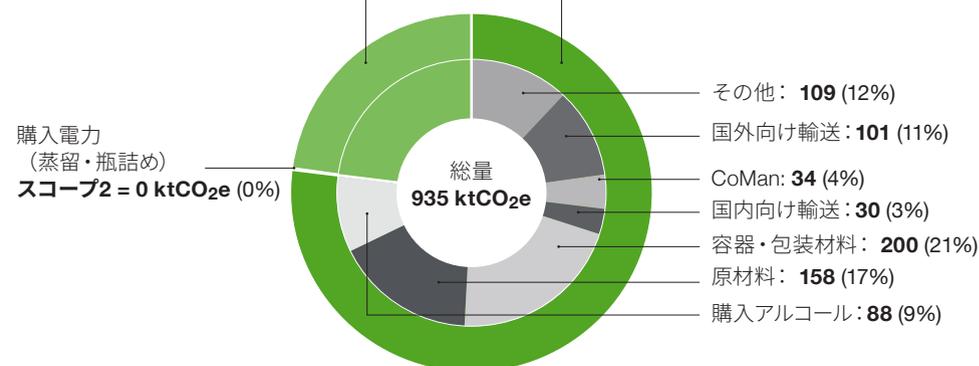
この取り組みにより、当社の温室効果ガス原単位(生産量kl当たりのCO₂eトン)は2019年の基準に対して2.5%以上削減されました。

バリューチェーン全体の温室効果ガス総排出量

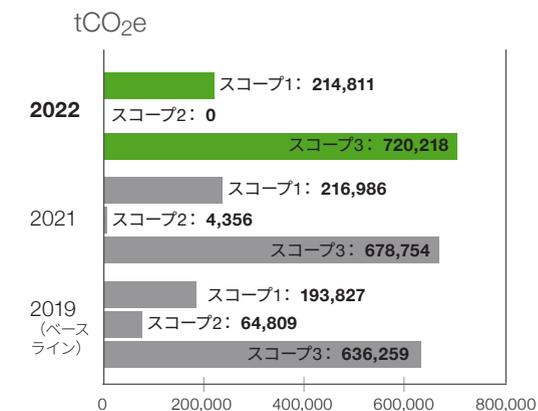
直接排出量(蒸留・瓶詰め)
スコープ1 = 215 ktCO₂e (23%)

購入電力(蒸留・瓶詰め)
スコープ2 = 0 ktCO₂e (0%)

スコープ3 = 720 ktCO₂e



バリューチェーン全体のスコープ1、2、3温室効果ガス排出量*



スコープ1 温室効果ガス排出量

当社は世界中で、より排出量の少ないエネルギー源への転換を進め、再生可能エネルギーの使用と生産を増やしています。スコープ1の温室効果ガス排出量削減に大きく貢献した主要プロジェクトがいくつかあります：

サントリーホールディングス (SHD) - 日本

2022年、サントリーは山梨県とパートナーシップを結び、2025年までにサントリーの白州蒸溜所と水プラントに日本最大となる16メガワットのパワー・ツー・ガスシステムを導入し、グリーン水素を製造する取り組みを発表しました。このシステムは、蒸留所とその周辺地域に電力を供給し、再生可能な資源から水を電気分解してグリーン水素を製造するもので、製造過程での温室効果ガスの排出を削減します。

スコープ1の温室効果ガス排出削減に貢献した主なプロジェクト

蒸留所	場所	プロジェクト	削減 (ktCO ₂ e)
Alberta Distillers (ADL)	カナダ、カルガリー	新しいミウラ天然ガスボイラーを設置。 これらの水管ボイラーは「ワンスルー」と呼ばれ、オンデマンド（冷間始動から5分以内）で蒸気を発生させます。 これらのボイラーはモジュール式で、設置面積がコンパクトで、従来の火管式ボイラーよりも効率的です。	3.8
DYC 蒸留所	スペイン、パラズエロス・デ・エレスマ	機械式蒸気再圧縮を備えた新しい蒸発器を設置。 蒸気の潜熱は保持され、蒸発器で再利用するために再圧縮されます。これによって、本来であれば無駄になっていたエネルギーを再利用することができます。 一旦蒸発器が始動すれば、必要なエネルギー入力はコンプレッサーを動かすための電気だけなので、蒸気と燃料の使用量を減らすことができます。	4.1
Laphroaig 蒸留所	スコットランド、アイラ島	ボイラーに新しい熱交換器（エコマイザー）を設置。 ボイラー排気の潜熱は保持され、流入するボイラー給水の加熱に再利用されます。これによって、本来であれば無駄になっていたエネルギーを再利用することができます。 入ってくる給水を加熱することで、ボイラーは水を蒸気に変えるために多くの燃料を使う必要がなくなります。	0.52
Maker's Mark 蒸留所	ケンタッキー州ロレット	ダブラーに新しい熱交換器を取り付けました。 ダブラーの出口からの潜熱は保持され、ダブラーに入ってくる低ワインを加熱するために再利用されます。これによって、本来であれば無駄になっていたエネルギーを再利用することができます。 ダブラーに入ってくる低ワインを加熱することで、熱の利用効率を高めます。	2.5

スコープ2 温室効果ガス排出量

当社の直接事業所はすべて、100%再生可能な電力で運営されています。この再生可能電力は、敷地内の太陽光発電、電力購入契約、再生可能電力属性証書 (REC) から得ています。

当社は新規および既存の再生可能電力源の創出支援に取り組んでいます。

当社はインド、ケンタッキー、スペインの直接事業所内にソーラーを設置しており、今後もさらに多くの国で生産能力を拡大する予定です。

また、米国とカナダで仮想電力購入契約 (VPAC) を通じて再生可能電力を購入する機会を増やすため、コンソーシアムを結成しています。



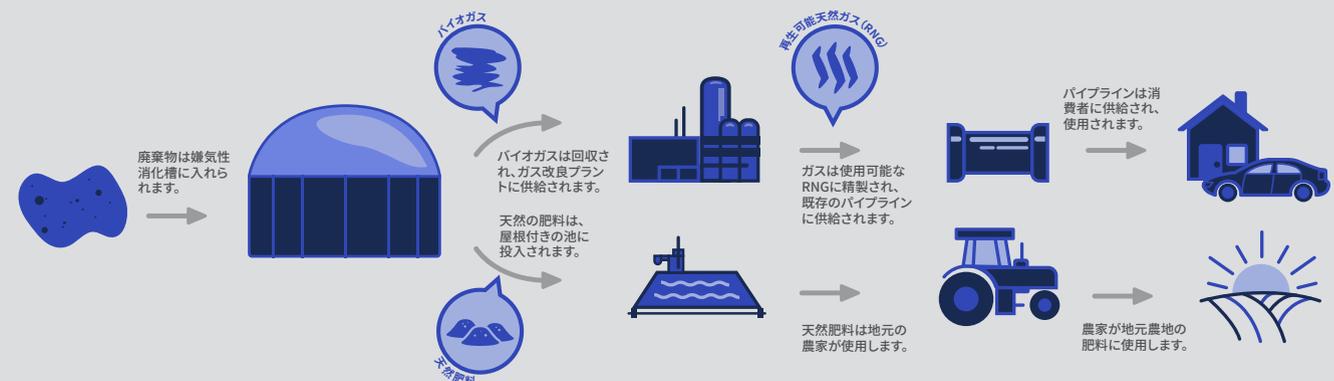
Jim Beamに再生可能エネルギーを導入する

2022年9月、Jim Beam®を生産するケンタッキー州ボストンのBooker Noe蒸溜所の生産拡大のために4億ドル以上を投資する計画を発表しました。この拡張により、蒸溜所の生産能力は50%向上し、同時に温室効果ガスの排出量も同程度削減されます。

3 Rivers Energy Partnersは、1億1,800万ドルの施設を設計、建設、所有、運営し、使用済み蒸留廃液を嫌気性消化装置を用いて再生可能天然ガス (RNG) に転換します。この施設では最大130万MMBtuのRNGを生産する

ことが期待されています。このRNGは配管規格に合うように精製され、直接Booker Noe蒸溜所に送られます。さらに、これらの嫌気性消化装置は高品質で低コストの天然肥料を生産し、地元の農家に提供されます。この天然肥料は、持続可能で再生可能な農業の実践を支援し、拡大するものです。施設の詳細については、3 Rivers Energy Partnersのウェブサイト 3riversenergy.comをご覧ください。

プロジェクトが完了すれば、Booker Noe蒸溜所の燃料は50%以上が再生可能天然ガスになります。



バリューチェーン全体の脱炭素化

2022年、当社のサステナビリティ、調達、フルフィルメント、輸送、ロジスティクスの各チームは、スコープ3温室効果ガス排出量の最大カテゴリー、目標達成に必要な取り組み、温室効果ガス排出削減を達成するための削減策を特定するために協力しました。また、温室効果ガス排出量の計算と報告モデルを確立し、2019年のスコープ3温室効果ガス排出量のベースラインと各種業務の目標を再計算しました。

スコープ3の温室効果ガス排出量の把握*

地域	KtCO ₂ e	スコープ3排出量
容器・包装材料	200	28%
原材料	158	22%
購入アルコール	88	12%
輸送と流通	131	18%
共同製造	34	5%
その他	109	15%

インサイトに基づくスコープ3行動計画

調達、オペレーション、フルフィルメント、サステナビリティの責任者で構成される運営委員会が主導するスコープ3ワーキンググループは、サステナビリティを調達プロセスの中心に据える戦略プレイブックを作成しました。これには、各カテゴリーの優先サプライヤーすべてのサステナビリティ・スコアカードが含まれ、今後、優先サプライヤーとの契約再交渉の際にサステナビリティが含まれるようにしました。

チームはまた、以下の主要分野における継続的な削減を推進するため、主要な削減策に取り組むイニシアティブの正式化を支援しています。購入アルコール、共同製造、包装、物流、農業の各分野です。

当社の包装ポートフォリオと農業原材料は、スコープ3の温室効果ガス排出量の最大要因の2つであり、当社が解決に取り組んでいる分野です。

新たに開発した「持続可能な包装設計ガイドライン」は、環境フットプリントの少ないプレミアム包装の設計に役立っています。これには、ボトルの重量を適正化し、再生可能でリサイクル可能な内容物の使用を増やすことで、不要な包装を減らし、バージン原料の使用量を減らすことが含まれています。

当社は、再生可能な農法を活用することで、温室効果ガス排出量を削減できる可能性を特定しました。現在、親会社のサントリー、サプライヤー、環境保護団体と共同で、大麦(英国)、トウモロコシ(米国)、ブドウ(フランス)、アガベ(メキシコ)の生産について試験的な取り組みを進めています。これらの試験的な取り組みから得られた知見により、これらの取り組みを拡大し、スコープ3の温室効果ガス排出量をさらに削減できる可能性があります。

進捗を測定するには、サプライヤーからの透明性を高める必要があります。私たちは、サプライヤーから受け取るデータの質と量を向上させ、当社の進捗を継続的に追跡し、機会を的確に把握できるようにすることを目標に、優先スコープ3データの初期データ要件テンプレートを開発しました。

Teacher's & Oaksmith - インド

容器・包装はスコープ3の温室効果ガス排出量の大部分を占めるため、Teacher's® Scotch WhiskyとOaksmith® International Blended Whiskyのパッケージでは使い捨ての箱への依存を減らすことに取り組んでいます。

この取り組みにより、インドでは2030年までに7億1,500万リットルの水を節約し、3.8トンの二酸化炭素排出量を削減できる見込みです。



道路貨物の温室効果ガス排出削減

当社は、欧州の大手デジタル道路貨物運送業者であるsennder社と提携し、オランダとドイツ全域にわたる道路貨物のバイオ燃料パイロット事業を実施しました。この試験事業では、わずか11カ月後に、これらのルートにおける当社の温室効果ガス排出量を88.8% (88メトリックトン以上) 削減しました。



* サントリースピリッツ(株)を除くレガシー・ビーム事業所のハイライト。

森林と農地

当社の蒸留酒は、穀物、植物、果物などの農産物と、熟成させる樽のための樹木から作られています。農家と緊密に連携し、収穫を行うごとに土地、水、気候の回復と改善に取り組むことで、気候変動に配慮した農業と持続可能な森林管理を実践する自然第一のアプローチを推進しています。

目標*	目標年	ベースライン年	ベースライン・データ	2021年に対する2022年の進捗	ベースラインに対する2022年の進捗	状況
新しい樽の製造に必要な伐採量より多くの木を植える。	2030	2019	0本	197,000本の木	206,787本の木	●
再生可能またはサステナブルなプラクティスを行う生産者とのみ取引する。	2040	2019	0ヘクタール	870ヘクタール(154の生産者)	870ヘクタール(154の生産者)	●

● 軌道に乗っている ● 軌道から外れている

森林再生と研究

木と蒸留酒は相性が良いです。当社を代表する銘柄の多くを木樽で熟成させ、味わいと個性を与えています。健全な森林は単に樽を供給し続けるだけでなく、地下水を浄化し、土壌を健康にし、活発な生態系を支える生物多様性に貢献します。

Nature Positive (環境への取り組み) 戦略の一環として、当社は地域レベルでパートナーシップを組み、森林再生活動や、バーボン樽の原料であるホワイトオークの遺伝学に関する重要な研究を支援しています。責任ある森林管理者として、私たちは戦略的優先事項を「持続可能な森林管理」に拡大する機会も認識しています。

2022年3月、バーボン樽の大半を製造するIndependent Stave Company (ISC) は、Sustainable Forestry Initiative® (持続可能な森林管理イニシアティブ) (SFI) の認証を取得しました。今後、ISCが米国で製造するすべてのアメリカン・ホワイトオークは、SFI 繊維調達基準の認証を受けることとなります。認証プロセスは、森林管理と収穫管理を支援し、生物多様性の保全と水質保全のための対策を求めています。

ビームサントリーはWhite Oak Initiative (ホワイトオーク・イニシアティブ) の創設メンバーでもあります。2017年に結成されたこのイニシアティブには、さまざまな業界、大学、州および連邦政府機関、民間の土地所有者、自然保護団体、業界団体が共通の目標を持って参加しています。それは質の高いホワイトオ

ークの再生を将来にわたって維持するという目標です。現在、多くの樽の原料であるアメリカン・ホワイトオークは十分に供給されていますが、土地管理の変化や生態系の変化により、将来の供給量を満たすために必要なペースで古いホワイトオークの木を若いホワイトオークの木に植え替えるよう、今すぐ対策を講じる必要があります。このイニシアティブでは、オークの健康、個体数、年齢、遺伝的ダイバーシティ、経済と雇用への影響に関連する問題の解決策を実施することを目的とした研究を奨励し、その方向性を示しています。また、私有地所有者と公有地所有者の両方に対して、ホワイトオークの生長を促進するための技術支援や、家族経営の森林所有者の参加と支援のための現場での実施戦略、公有地の森林管理者への支援も行っています。



The Nature Conservancy and Green Forests Work とのケンタッキー州の森林再生

2022年4月、当社はThe Nature Conservancy (TNC) and Green Forests Workと協力し、ケンタッキー州ベル郡の地表鉱山跡地約150エーカーに10万本以上の木を植え、ショートリーフ・パインおよびアップランド・オークの森林を再生しました。また、花粉媒介生物やその他の野生生物のために、525ポンドの在来の暖地

型牧草と野草の種をその地域に撒きました。ビームサントリーのボランティア75名が、2日間で約7,000本の植樹を行い、そのうちの約半数がホワイトオークでした。

このサイトはTNCの253,000エーカーにおよぶカンバーランド・フォレスト・プロジェクトの一部で、公共レクリエーション、持

続可能な木材伐採、森林炭素市場、インパクト投資を組み合わせた革新的な保全アプローチを特徴としています。ケンタッキー州、テネシー州、バージニア州にまたがるこのプロジェクトには、鉱山跡地が含まれています。

これらの森林を再生することで、気候変動への回復力、野生生物の生息地、そして中央アパラチア山脈の渡り廊下における森林の連結性を高めることができます。

持続可能な農業

私たちは農家と提携し、再生可能で責任ある農業技術の向上に取り組んでいます。これには、化学肥料や農薬の使用を減らし、被覆作物を植えて土壌の生物多様性と肥沃度を高め、輪作やその他の慣行を実施するなど、温室効果ガスの排出を削減し、土壌の健全性を向上させる再生農業の実践が含まれます。

当社の目標は、地域社会と農家の生活を支援しながら、自然を回復し保護することです。結局のところ、土壌と生物多様性がより健全になるということは、高品質の原料を継続的に入手できるということです。



ケンタッキー - Maker's Mark®

2022年、当社はケンタッキー州でThe Nature Conservancyと提携し、再生農業の実践に関する調査プロジェクトを実施しました。この調査プロジェクトから学んだ教訓をもとに、トウモロコシ供給の75~80%を占めるMaker's Mark農家の約35%が、再生可能農法をさらに拡大するための試験的な取り組みを行っています。当社は、成長地域でより広く適用できるベストプラクティスのテストと展開を続けていきます。

小麦の生産と農業は、商業的農業産業が風味よりも収穫量を優先するようになったため、劇的に変化しました。Maker's Markは将来に向けて、小麦にさらなる風味をもたらすためにいくつかの行動を起こしました。Star Hill Farmでは、専門家である小麦育種家と提携し、平飼い小麦や伝統的な小麦品種の試験圃場を栽培しています。また、農場全体で再生農法を実施し、土壌の健全性を向上させることで、作物の品質と風味を高めています。Maker's Markはまた、ケンタッキー大学と提携し、消費者が責任ある再生可能な手法で現地で原料を栽培しているブランドを簡単に識別できるよう、ラベル表示と調達オプションの研究を行っています。



メキシコ - Casa Sauza®

Casa Sauza Tequilaブランドは、テキーラ業界初の試みとして、Red Bio Terra社と提携し、持続可能なアガベ植林による炭素吸収効果を測定しました。このパイロット試験では、昼間に炭素を吸収する在来植物を、夜間に炭素を吸収するアガベの列の間で成長させることで、アガベ畑の炭素吸収量を最大化する方法を探ります。これが成功すれば、2026年までにCasa Sauzaの温室効果ガス排出量の約50%、2030年までに100%を削減することができます。



フランス - Courvoisier™

フランスのジャルナックにあるMaison Courvoisierは、ワイン生産者、水関連機関、専門家など複数の地元パートナーとともに、地域の水資源の質を維持し、生物多様性を促進するための基金「Ô'Vignes」を設立しました。プロジェクトの一環として、250種以上の植物を作物の覆土として植え、雨水が地下水にろ過されるようにし、汚染物質の除去や生物多様性の発展に貢献します。植物が増えれば、重要な昆虫の集団や動物相の生息地も広がります。



英国における再生大麦農法による排出削減

農産原料は、ビームサントリーのバリューチェーン全体における温室効果ガス総排出量の約16%を占めており、中でも大麦の排出量は最大です。2022年11月、ビームサントリーとサントリーグループは、温室効果ガス排出量削減のため、再生農法で生産された英国産大麦を調達する新たな取り組みを英国で開始しました。英国を拠点とする麦芽サプライヤーのMuntons社、持続可能な農業のコンサルタント会社であるFuture Food Solutions Ltd、およびイースト・アングリア地域の地元大麦農家が参加するこの共同プロジェクトでは、まず作物に関連するすべての温室効果ガス排出量をベースライン化し、5年以内に温室効果ガス排出量が50%削減された大麦を生産する予定です。

容器・包装

私たちは、ボトルから箱に至るまで、製品がどのようにパッケージングされているかが、消費者に愛される体験の一部であることを知っています。消費者にプレミアム・ブランド体験してもらいながら、フットプリントを小さくし、廃棄物を減らすことを目標としながら、私たちは革新的なデザイン原則を取り入れることで、容器・包装に使用する投入資材を減らし、消費者がリサイクルしやすいようにしています。

目標*	目標年	ベースライン年	ベースライン・データ	2021年に対する2022年の進捗	ベースラインに対する2022年の進捗	状況		
容器・包装ポートフォリオ全体で100%リサイクル可能な ¹ 容器・包装を使用	2030	2021	88%	一次容器・包装	0%	88%	一次容器・包装	●
100%rPET ² またはバイオベースの材料をPETボトルに使用	2030	2019	0%		+0.6%	+1.2%		●
パッケージングポートフォリオ全体で重量比で、リサイクル材 ³ を40%使用。	2030	2019	13.1%		-1.3%	11.3%		●

● 軌道に乗っている ● 軌道から外れている

容器・包装の刷新

Maker's 46[®]の容器・包装を刷新し、重量を32%削減することで、975トンのCO₂排出量削減を実現しました。また、Basil Hayden[®]の一次梱包からポリ袋を取り除き、55トンの直鎖状低密度ポリエチレン・プラスチックを削減し、CO₂排出量を123トン削減しました。



容器・包装における持続可能なデザインの標準化

当社は、Seed to Sipの容器・包装デザイン・プロセスにサステナビリティを組み込み、サステナビリティの意味を説明することで、廃棄物ではなく価値を付加する、地球に優しいプレミアム・パッケージをデザインできるようにしています。新しいパッケージング・イニシアチブであれ、刷新されたパッケージング・イニシアチブであれ、イノベーションの各段階では、容器・包装と気候に関する目標に対処するために、リサイクル可能性、リサイクル含有量、温室効果ガス排出量に関するサステナビリティ・パラメーターが設定されます。

また、当社のチームは、3つの主要分野に重点を置いて新たに作成した「サステナブル・パッケージング・デザイン・ガイドライン」を活用しています。

1. デザインの最適化
2. リサイクルのためのデザイン
3. 持続可能な調達

このガイドラインは、当社が最初から持続可能なパッケージングを設計できるようにするためのものです。各パッケージングパーツタイプの「Good」、「Better」、「Best」スタイルの

ガイドランスと、関連する規制、顧客、消費者要件が記載されています。

2021年12月に導入されたライフサイクル・アセスメント・ソフトウェアも、設計プロセス全体を通じて重要なツールとなっています。このプラットフォームは、重量やサプライヤーの距離など、さまざまなパッケージング要因が環境に与える影響を理解するのに役立ち、現在のポートフォリオのパッケージングの環境フットプリントの基本的な理解を与えてくれます。

世界的なリサイクル容器・包装基準の作成

2022年、当社はリサイクル可能性のグローバルベンチマークを作成し、当社のポートフォリオにおけるギャップを特定することを目的としたプロジェクトを完了しました。当社の分析によると、2021年の生産データに基づき、当社のポートフォリオの一次包装は88%リサイクル可能です。米国とカナダでは、リサイクル可能な一次包装材が1%増加しました。2022年の生産データに基づいて、その他のグローバル・ポートフォリオの評価を完了するよう取り組んでいます。私たちは今年、リサイクル可能性評価を二次および三次包装にも拡大しています。

* サントリースピリッツ(株)を除くレガシー・ビーム事業所のハイライト。

- 1 リサイクル可能：パッケージを正しく回収、選別し、市場が存在する商品に加工できる場合に、そのパッケージはリサイクル可能であるとみなされる。
- 2 リサイクルポリエチレンテレフタレート (rPET)。
- 3 リサイクル材料とは、消費者がリサイクルしたものや産業廃棄物を含む回収された材料から作られたものである。

この作業の結果、当社が特定したギャップを埋めるために取り組んでおり、これには以下の4つの主要な機会を含みます。

- 50mlのペットボトルは、標準的なスクリーンサイズでは2インチ以下の材料は廃棄物の流れに入ってしまうため、現在では小さすぎてリサイクルできません。
- ポリエチレンテレフタレート (PET) ボトルのROPP (アルミニウム) キャップは、ボトルが適切に分別されるのを妨げたり、rPETの流れを汚染します。
- 多素材チューブや木箱のようなリサイクル不可能な二次包装。
- プラスチックリサイクル協会 (APR) の基準で、リサイクルに不利とされる琥珀色のPET。一部の市場ではリサイクル可能ですが、APR「Preferred (望ましい)」ステータスに到達するために、これらのボトルを改善する代替案を検討します。

このような機会に対処するため、50mlボトルの分別に適したデザインを検討し、PETボトルのアルミニウム代替品を発売し、琥珀色PETの広くリサイクル可能な選択肢を特定しています。また、二次包装のリサイクル可能な代替品への移行や、包装の全廃も進めています。

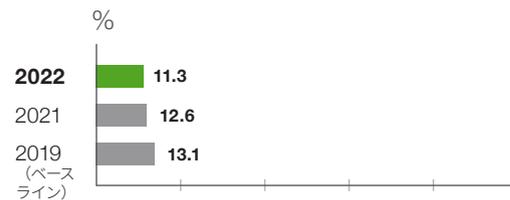
ケンタッキー州クレモントにあるグローバル・イノベーション・センターでは、包装のリサイクル性を現場で試験・観察するための新しい機器を導入しました。この装置により、APRの

試験仕様に適合した模擬リサイクル工程に製品を通すことができます。

重量ベースでのリサイクル材料

より循環型のパッケージングを採用する中で、当社の重要な目標のひとつは、2030年までにパッケージングポートフォリオ全体で再生材料を重量比で40%にすること、そして2040年までに60%に拡大することです。段ボールのリサイクル率は、基準年の31.6%から2022年には39.6%まで増加し、着実に前進しています。しかし、リサイクル総量に最も大きな影響を与えているのはガラスで、総材料重量の82%を占めています。ガラスカレットの利用可能量は過去2年間減少しており、リサイクル率の合計は減少しています。このことから、当社のボトルが生産される地域で利用可能なカレット量に影響を与えることができる方法に焦点を当てるのが大切です。

容器・包装材*に占める再生材料の割合

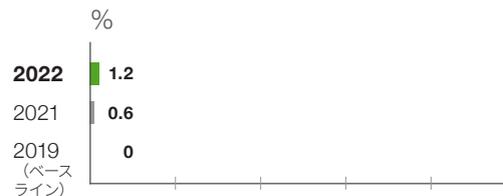


今後は、クローズド・ループ・リサイクル・プログラムやパートナーシップを模索し、地域全体でリサイクルされるガラスの量や、カレットの入手を増やしていきたいと考えています。

変化する市場におけるリサイクルPET

2022年、当社は梱包材の循環型プラスチックを増やすための土台作りを続けました。今後数年間でPETパッケージの100%を未加工原料からリサイクル素材に段階的に移行するための計画を策定しました。

容器・包装材*に占めるrPETの割合



*サントリースピリッツ (株) を除くレガシー・ビーム事業所のハイライト。



How2Recycleで持続可能な未来を創造

2022年、当社は米国とカナダの容器・包装ポートフォリオのリサイクル性を評価する How2Recycle®ラベルプログラムに参加しました。

Maker's Markは、米国とカナダの両方で包装にHow2Recycleスマートラベルシステムを採用した最初のブランドです。スマートラベルシステムは、リサイクル指示を分かりやすく明確に伝えることで、消費者が当社のさまざまな容器・包装要素をリサイクルし、廃棄するために適切な行動をとることができるようにします。今後数年のうちに、さらに多くのブランドが続くと予想しています。



Maker's Mark is proud to be a Certified B Corporation, meeting the highest standards of social and environmental impact. For more information, visit makersmark.com/sustainability

GOVERNMENT WARNING: (1) ACCORDING TO THE SURGEON GENERAL, WOMEN SHOULD NOT DRINK ALCOHOLIC BEVERAGES DURING PREGNANCY BECAUSE OF THE RISK OF BIRTH DEFECTS. (2) CONSUMPTION OF ALCOHOLIC BEVERAGES IMPAIRS YOUR ABILITY TO DRIVE A CAR OR OPERATE MACHINERY, AND MAY CAUSE HEALTH PROBLEMS.

DISTILLED, AGED AND BOTTLED BY THE MAKER'S MARK DISTILLERY, INC., STAR HILL FARM, LORETTO, KY, USA.

PLEASE ENJOY RESPONSIBLY. **NOT FOR UNDERAGE** www.drinksmart.com

Per 1.5 fl. oz. - Average Analysis: Calories 109, Carbohydrates 0g, Protein 0g, Fat 0g

ME VT REF 15C - 1A REF 5C

1 L

Empty & Replace Cap



0 85246 50202 0



111-AZN0313



“バーボン”は自然の蒸留酒。原料の品質にこだわることで、ウイスキーがより持続可能であるだけでなく、より風味豊かな未来につながることを知っています”



Rob Samuels



2022年に認定Bコーポレーションのステータスを取得したことで、Maker's Markが当社の価値観の一部として取り組んできた数十年にわたる職場、地域社会、環境への取り組みが認められました。

STAR HILL FARM Kentucky

1 再生可能農業の実践

2022年、1,100エーカーのStar Hill Farmは、独立した再生土壌検証のリーダーであるRegenifiedからティア2認証を取得しました。このブランドは、土壌の生態系を改善し、温室効果ガスの排出を削減し、農場で収穫されるすべてのものの味を最大限に引き出す再生可能農業を支持しています。

2 地元食材の調達

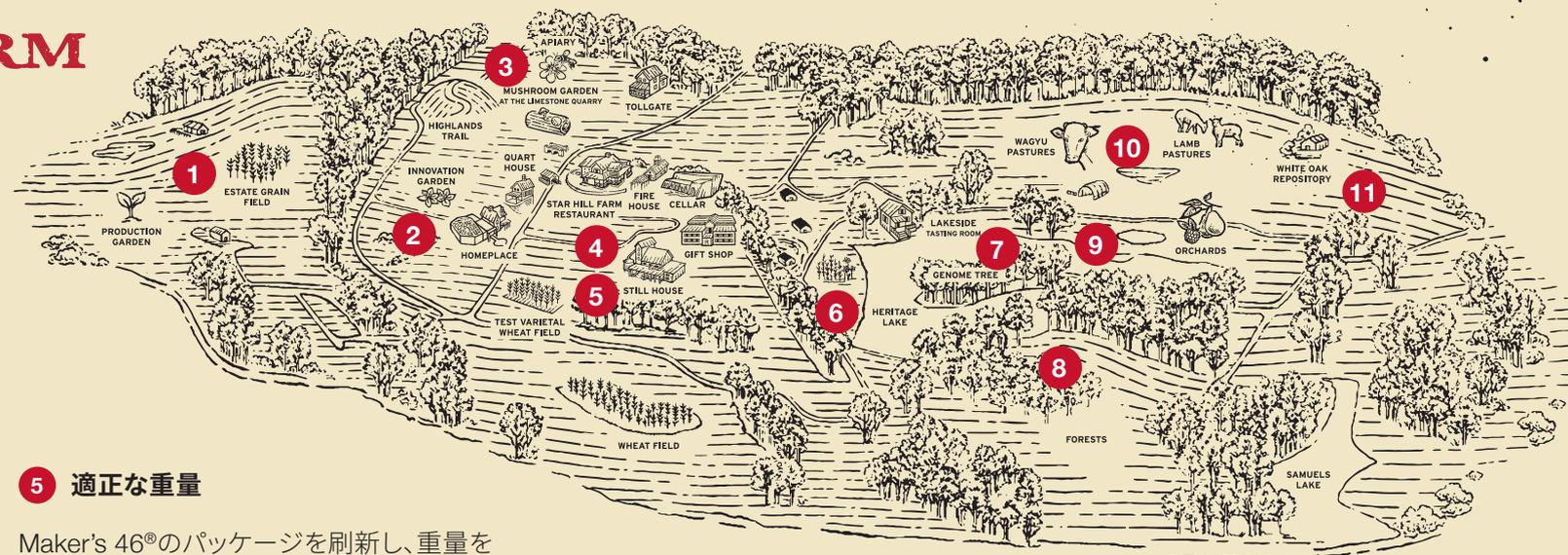
敷地内のレストランやカクテル・プログラムで使用される食材の86%は、敷地内で栽培されたもの、またはウイスキーの食材と同様に半径30~60マイル以内で調達されたものです。

3 ファームツアー参加者の体験談

新しい「ファームツアー」ビジターエクスペリエンスでは、蒸溜所を訪れる方々に、ウイスキーの製造方法だけでなく、私たちがどのように自然環境を守り、育てているのかを知っていただくことができます。

4 廃棄物埋め立てゼロの蒸留所

Maker's Markは、従業員全員の熱心なリサイクル、再利用、堆肥化の努力により、2022年12月に廃棄物埋め立てゼロの蒸留所となりました。



5 適正な重量

Maker's 46®のパッケージを刷新し、重量を32%削減することで、975トンのCO₂排出量削減を実現しました。

6 敷地内の湖

Maker's Markの創業者である Bill、Margie Samuels夫妻が、ウイスキー蒸溜所にStar Hill Farmを選んだ理由は、湧き水の水源へのアクセスの良さでした。これらの敷地内の湖の保護と保全は、私たちの環境スチュワードシップの中心的役割を担っています。

7 ゲノムの系統樹

Maker's Markとケンタッキー大学は、Star Hill Farmにある推定樹齢500年のホワイトオークの木「MM1」のゲノムをマッピングするという、業界初の包括的な取り組みを共同で行いました。この母樹の遺伝データを研究することで、この種の寿命、耐病性、生命力に関する情報が得られるでしょう。

8 ナチュラル・ウォーター・サンクチュアリ

Maker's Markは、私たちの水源を囲む流域の100%を所有しており、75エーカー（さらに拡大中）がナチュラル・ウォーター・サンクチュアリに指定されています。

9 原生植物と花粉媒介植物園

私たちは、生物多様性を高め、水と石灰岩の接触を高めて水質を改善するために、ナチュラル・ウォーター・サンクチュアリに自生の草を植えています。この植物はまた、ミツバチや蝶、地面に巣を作る鳥など、在来の花粉媒介者の再導入にも役立ちます。

10 被覆作物と家畜

私たちは被覆作物や輪換放牧などのシステムを使って、総合的な再生農業モデルの一環として土壌構造と健全性の改善を支援しています。反芻動物が土地に再導入されると、土壌生物学の多様性が向上し、植物に有機肥料を残します。

11 ホワイトオーク研究林

Maker's Markはケンタッキー大学とともに、世界最大のホワイトオーク研究林を造成しました。400種以上のホワイトオークが生息するこのオーク林は、科学者がこの樹種を研究し、理解し、改良するための生きた実験室として機能しています。

ビーム サントリー Consumer Positive (消費者 への取り組み)

このセクションでは

- 21 情報に基づく選択
- 23 消費者情報
- 24 消費者のための低アルコールとノンアルコール製品オプション

責任ある消費文化

アルコール飲料企業として、私たちが消費者を含め、社会にポジティブな影響を与えるという、核心となる責任も伴います。私たちが素晴らしいプレミアムブランドを通じて人々を結びつけ、思い出と体験を創造するとき、責任を持ってそれを行うことが最優先事項です。これには、消費者が個人の幸福のために正しい選択をし、アルコール関連の害を減らすことを支援することも含まれます。

SDGsへの貢献

外部コンサルタントと協力し、SDGsを今後の活動の優先分野の特定に役立てています。当社は、有害な飲酒と闘う解決策の一部となることを目指し、業界全体のコミットメントを推進し、エビデンスに基づく責任プログラムを支援し、消費者が飲酒をするまたはしないことについて十分な知識を持った選択ができるような解決策を開発しています。当社は、消費者が選択肢を求めていることを知っています。だからこそ、低アルコールやノンアルコールの革新的なカクテル戦略で商品ラインナップを拡大しているのです。



情報に基づく選択

蒸留酒業界の世界的リーダーとして、責任を持って製品を宣伝・販売することは、有害な飲酒と闘う解決策の一部となることと同様に、基本的なことです。

目標*	目標年	ベースライン年	ベースライン・データ	2021年に対する2022年の進捗	ベースラインに対する2022年の進捗	状況
5億ドルを投資し、3億人以上の法的飲酒年齢消費者を責任主導のプログラムに参加するよう働きかける。	2030	2021	-	500万ドル	-	●

● 軌道に乗っている ● 軌道から外れている

責任を持って製品を宣伝・販売することが基本です

これは、当社の全従業員が当社の行動・倫理規範およびマーケティング行動規範を遵守することから始まり、蒸留酒、米国蒸留酒評議会(DISCUS)、責任ある行動規範のような業界ガイドラインは、当社ブランドの責任ある広告およびマーケティングに対する当社のコミットメントをさらに示すものです。

当社のConsumer+コミットメントは、責任ある飲酒を促進し、あらゆる形態の有害な飲酒の減少を支援し、法定購入年齢または法的飲酒年齢の成人にアピールするよう設計されたコンテンツを促進することであり、法定購入年齢未満に向けた、または主にそれらにアピールすることを意図したものでは決してありません。法的飲酒年齢の消費者がより心豊かなライフスタイルを目指す中、私たちは消費者が賢く教育を受けた上での選択ができるようなソリューションを開発しています。

*サントリースピリッツ(株)を除くレガシー・ビーム事業所のハイライト。

DRINK SMART®

Drink Smart®は、責任ある消費について法定購入年齢の消費者とコミュニケーションするための当社のグローバルプラットフォームです。その教育的リソースは、アルコールが身体にどのような影響を与えるか、また飲酒を選択する際にどのように賢い決断を下すかについて、消費者が事実を知るのに役立ちます。このサイトでは、当社のポートフォリオに含まれるほとんどのブランドについて、標準的な一杯あたりのカロリー、糖質、脂質、炭水化物のほか、アルコール含有量についての詳細を掲載しています。DrinkSmart.comは、ビームサントリーのマーケティング活動を通じて宣伝され、すべてのブランドパッケージに掲載されています。

責任と悪影響の減少に向けた集団的コミットメント

責任ある飲酒のための国際同盟(IARD)の創設メンバーとして、私たちは、他の主要なビール、ワイン、蒸留酒メーカーとともに、社会全体のアプローチの一環として、世界中で有害な飲酒を減らし、基準を高めるための行動を起こしています。

日本

当社の親会社であるサントリーは、日本での節制を奨励するため、複数年にわたる「Drink Smart」キャンペーンを展開しています。2022年、このキャンペーンは新聞、デジタルメディア、専用ウェブサイトなどダイバーシティ・プラットフォームを通じて2,800万人に到達しました。

米国

米国では、スポーツ・パートナーシップを活用し、Jim Beam、Hornitos、Maker's Markの責任あるメッセージを全米の球場やアリーナで表示しています。メッセージはスポーツファンにスマートな飲み方と責任ある行動を呼びかけ、5億人の消費者に届きました。

これには、世界保健機関(WHO)の非感染性疾患(NCD)グローバルモニタリングフレームワークの目標である、2025年までにアルコールの有害な使用を少なくとも10%削減することや、国連のSDGs 3.5も含まれます。

IARDのメンバーとして、私たちは、責任ある広告とマーケティングの実践を含め、業界の基準を高めるために他者と協力してきた長い歴史があります。

IARDは、主要なデジタルプラットフォームと協力し、未成年者がオンラインでのアルコール販売活動を目にするのを防ぐために、年齢審査を改善し、ユーザーがアルコール販売活動をオプトアウトできるようにし、コンテンツ制作者が投稿を年齢制限できるようにするなどしています。

主要なデジタルプラットフォームの協力により導入された変更点は以下のようなものがあります。

- Googleは、エコシステム全体にわたってアルコール広告の表示拒否をユーザーに許可
- Instagramは、インフルエンサーの投稿に年齢制限を導入
- Snapchatは、アルコール広告の表示拒否をユーザーに許可

IARDはまた、ソーシャルチャンネルにおけるアルコール販売活動に関する強固な基準を設定するため、世界有数の広告、広報、インフルエンサーのエージェンシー13社と独自のパートナーシップを結びました。

また、IARDとそのメンバーは、世界および地域の17のオンライン小売業者、電子商取引および配送プラットフォームと協力し、2021年にアルコールのオンライン販売および配送に関する世界基準を立ち上げることに貢献しました。その目的は、未成年者への販売を防止し、成人の有害な飲酒を減らし、地域または国の法律や規制に従ってのみ受取人にアルコールが届けられるよう支援することでした。

2022年には、未成年者や酩酊者へのアルコールの提供を防止するため、IARDの最前線配達員研修が開始されました。この新しいトレーニング教材はアルコールを配達する人に、必要な場合に配達を断るためのツールを提供することを目的としており、難しい状況を処理するためのコミュニケーション技術も含まれています。

ケンタッキー大学のJames B. Beam Institute for Kentucky Spiritsは、ケンタッキー大学のラーニング・バーとも密接に協力しています。このラーニング・バーは、アルコールが身体や地域社会に与える影響や、アルコールの害を軽減する戦略について学生を教育することに焦点を当てた、体験型インターラクティブ教育コースです。

世界中の労働組合と社会的側面団体の活動を支援

ビームサントリーは、DISCUS、Scotch Whisky Association、spiritsEUROPEなど、蒸留酒および関連業界にとって重要な法

律、規制、公共問題に関する提言を行う世界各地の業界団体に加盟しています。これらの団体は持続可能な取り組みを支持し、未成年者の飲酒や酒気帯び運転の防止、飲料用アルコールの責任ある消費促進のための業界の取り組みに参加し、責任への強いコミットメントを明確にするのに役立っています。

12月、DISCUSはホリデーシーズンやそれ以降も、成人のアメリカ人に標準的な飲酒量と節度ある飲酒の必要性を啓蒙するため、新しい啓蒙キャンペーン「The ABCs of ABVs」を開始しました。キャンペーンでは、従来のメディアやオンラインメディア、ソーシャルメディア、ウェブサイト StandardDrinks.org を通じて、食事ガイドラインや標準的な飲酒量に関する事実や情報を共有しました。

また、未成年の飲酒を撲滅し、責任ある飲酒を奨励するためのエビデンスに基づくプログラムについて、世界中の社会的課題に関する組織と協力しています。私たちは、業界全体のパートナーシップと協力を通じて、アルコールの害を減らし、誰かがアルコールを摂取することを選択するときにはいつでも、責任と節度を促進するために取り組んでいます。

米国

私たちはFoundation for Advancing Alcohol Responsibility (Responsibility.org) とのパートナーシップを通じて、1991年以来、米国における未成年者の飲酒の48%減と飲酒運転による死亡事故の15%減に貢献するプログラムやイニシアチブを支援してきました。³ このプログラムには、未成年者の飲酒にノーと言うことを若者に教え、未成年者の飲酒のリスクについて効果的な会話をする方法について親や学校のカウンセラー、教師を指導する、「Ask, Listen, Learn」プログラムの支援も含まれています。このような努力は、この重要な問題をめぐる会話を活発化させ、子供たちのアルコールに対する態度や認識を形成する上で、親が極めて重要な役割を果たすのに役立っています。2003年以降、親子の会話は31%増加し、未成年者の飲酒率は53%減少しました。

オーストラリア

私たちのパートナーで社会的側面団体であるDrinkWiseは、消費者を教育するための積極的かつ革新的なキャンペーンを展開し、飲酒時に責任ある選択をするための情報と実用的なツールを提供しています。「Always respect, always DrinkWise」キャンペーンを通じて、DrinkWiseは、ステート・オブ・オリ

ジンとNRLファイナル・シリーズを前に、ナショナルラグビーリーグ (NRL) のスター選手たち、ニューサウスウェールズ警察、酒類販売業者と協力しました。オーストラリア国民に、常にお互いを尊重し、節度ある飲酒をすることの重要性を再認識してもらうことを目的としています。

アジア

飲酒運転撲滅啓発キャンペーン「Power of No」は、各国政府やNGOを含む国際、地

域、地元パートナーの大連合を結集し、東南アジア全域の飲酒適齢期の若者4,000万人を対象に実施されました。このオンライン・キャンペーンでは、ビデオクリップ、インフォグラフィック、コマーシャルビデオ、ウェブサイト、ソーシャルメディアへの投稿を紹介し、飲酒運転をめぐる文化を変え、責任ある飲酒習慣を常態化させ、飲酒運転に「ノー」と言えるようにすることを目指しました。

社会的側面組織の選択肢



消費者情報

法的飲酒年齢の消費者がアルコールについて十分な情報を得た上で選択できるよう支援するというコミットメントの一環として、当社は2018年、ブランド包装とDrink Smart®の両方で栄養情報を開示することを自主的に約束しました。

目標*	目標年	ベースライン年	ベースライン・データ	2021年に対する2022年の進捗	ベースラインに対する2022年の進捗	状況
100%の自社製品について、主要栄養成分およびアルコール含有量の情報をパッケージまたはオンラインで提供する。	2030	2018	0%	8%,** 2022年には277の在庫管理単位(SKU)を追加。	-	●

● 軌道に乗っている ● 軌道から外れている

基本原則

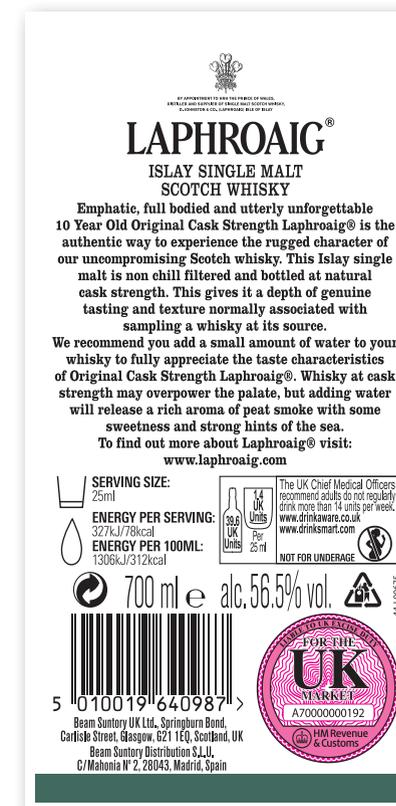
責任に真摯に取り組む企業としての当社の役割を振り返り、IARDの「今後の行動指針」を支持し、多数の自主的グローバル・コミットメントを行いました。これには妊娠中の飲酒、飲酒運転、未成年者の飲酒について警告する記号または文言の記載だけでなく、栄養成分とアルコール含有量を提供することが含まれます。

DrinkSmartは、責任ある消費について消費者と直接コミュニケーションするためのグローバルなプラットフォームを提供し、当社のポートフォリオに含まれるすべてのブランドについて、カロリー、糖分、脂肪、炭水化物、標準的な一杯分あたりのアルコール含有量についての詳細を記載しています。私たちは、サイト上で利用可能な情報を拡大し続け、地域特有の栄養情報を迅速に追加するために、第三者の専門家を迎え入れました。

容器包装に加えて、このウェブサイトは、マーケティング活動を通じて宣伝され、法的飲酒年齢の消費者に、アルコールが身体にどのような影響を及ぼすか、また飲酒を選択する際にどのように賢い判断を下すかについて、事実を知ってもらうためのデジタルツールのポートフォリオを提供しています。

私たちは、最も販売量の多い市場やブランドでパッケージのデザインが変更されるたびに、消費者情報を追加しています。これは、私たちが最も大きな影響を持っている領域です。規制上の制約からラベルを変更できない市場もあります。

2022年には、さらに277の在庫管理単位に情報を追加しました。出荷量の8%には更新されたラベルが使われており、2023年には9Lケースにおいて21%まで増やすことを目指しています。



*サントリースピリッツ(株)を除くレガシー・ビーム 事業所のハイライト。

** 当社の出荷量のうち、容器包装に栄養データが記載されている割合

消費者のための低アルコールとノンアルコール製品オプション

私たちは、消費者がそれぞれの消費機会にライフスタイルの好みに合った方法で参加できるよう、低アルコールとノンアルコール製品やカクテルレシピの新製品でポートフォリオを拡大しています。

目標*	目標年	ベースライン年	ベースライン・データ	2021年に対する2022年の進捗	ベースラインに対する2022年の進捗	状況
主要カテゴリーにおいて、低アルコールとノンアルコール製品およびカクテルレシピを開発し、導入し、認知度を向上させる。	2030	2021	0	2つの新たなイノベーション	4	●

● 軌道に乗っている ● 軌道から外れている



Suntory ALL-FREE

一部の米国市場で、日本の職人技と高品質な原料を使用したノンアルコールビール「Suntory ALL-FREE」を発売しました。日本で

はすでに発売されていますが、米国での導入にあたり、4人のライフスタイル・インフルエンサーと提携したデジタル広告キャンペーンでスポットライトを当て、合計102,000回クリックされ、全体のクリックスルー率は1.63%となりました。



Jim Beam® Bourbon Sprizz

ドイツでは、「Jim Beam® Bourbon Sprizz」を発売しました。アルコール度数3%の「Bourbon Sprizz」は、低アルコール分野で初

のバーボンベースのReady-to-Drinkシリーズで、レッド・サマー・ベリー、ジューシー・アップル、サニー・ピーチの3種類のフルーツフレーバーを揃えています。



Sipsmith® FreeGlider

英国初のノンアルコール・スピリッツ、Sipsmith®のFreeGliderが2021年に発売されました。爽やかなユーカリのフレーバーにスパイシーなジュニパーのニュアンスを加えた、アルコール度数0.5%のこのワインは、品質とフレーバーに妥協はありません。

は、品質とフレーバーに妥協はありません。



レモンサワーゼロ／のんある晩酌

2021年に日本で発売された「レモンサワーゼロ」は、焼酎由来のうまみを凝縮したノンアルコールエキスで、本格的なレモンサワーの味わいをお楽しみいただけます。

本格的なレモンサワーの味わいをお楽しみいただけます。

* サントリースピリッツ(株)を除くレガシー・ビーム 事業所のハイライト。

ビーム
サントリー

Community Positive (地域社会への取り組み)

このセクションでは

- 26 従業員
- 31 私たちの産業
- 33 地域社会

インクルージョンの精神の育成

人々を結びつける象徴的なブランドを擁するグローバル企業として、私たちはダイバーシティによる団結の力を信じています。私たちは、世界中の地域社会を支援し、豊かにすると同時に、誰もが活躍し、私たちを前進させる新鮮な視点を提供できるような、より包括的で公平な企業を築く旅をしています。

SDGsへの貢献

SDGsは、事業におけるグローバルな男女同権の推進、米国の人種的・民族的な多様性を代表することを推進し、マイノリティ・サプライヤーやビジネスの支援、地域コミュニティの繁栄支援など、今後の活動の優先分野を特定するために活用しています。



従業員

私たちは、従業員のユニークな洞察力、経験、バックグラウンドが真に評価され、尊敬されるような進歩的でインクルーシブな職場環境を可能にする、多様で公平かつインクルーシブな会社を育てています。

目標*	目標年	ベースライン年	ベースライン・データ	2021年に対する2022年の進捗	ベースラインに対する2022年の進捗	状況
世界においてリーダーに占める女性の割合を50%にする。	2030	2020	33.2%	0.9% 増加	+3.6%	●
私たちが暮らし、働いている地域社会の多様性を反映した米国の労働力を構築する。	2030	2020	15.9%	1.5% 増加	+3.4%	●
業界トップレベルの「帰属意識」(Glint スコア80点以上)を全社で達成するよう努力する。	2020		77	77	0 ポイント	●

● 軌道に乗っている ● 軌道から外れている

公平な従業員体験の創出

DEIは我々にとって長期的なコミットメントです。

私たちは、多様性が会社とブランドをより強くすることを知っています。社員が成功できる社内環境を作るだけでなく、消費者や私たちが生活し働く地域社会を反映するような多様性に富んだチームを創りたいと考えています。文化的知性、共感力を高め、社員が自分の経験、アイデア、視点を自由に共有できる職場環境を整えることで、消費者との理解とつながりを強化し続けることができると確信しています。

私たちのDEIへのグローバルなアプローチは、3つの分野で構成されています。

- 労働力(多様性と公平性)
- 職場(インクルージョン、帰属意識、エンゲージメント)
- マーケットプレイス(消費者、サプライヤー、地域社会)

私たちは多様性のスペクトルを超えて代表性を高めることに注力し、従業員の足かせとなっている障壁を特定して取り除くことに尽力し、地域社会における経済的インクルージョンを支援しています。



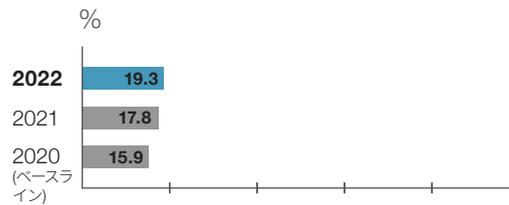
2023年、私たちはサントリーリーダーシップ考動項目を新たに設定しました。これは、私たちを前進させる「何を(What)」である目標に対して、従業員が「どのように(How)」成果を上げているかを公平に測定するためのものです。

詳しくは6ページをご覧ください。

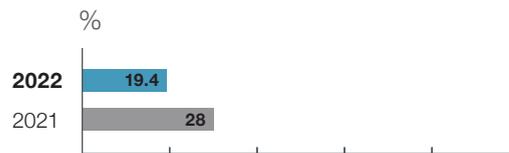
* サントリースピリッツ(株)を除くレガシー・ビーム事業所のハイライト。

労働力

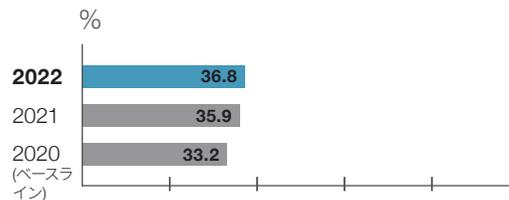
人種／民族の代表 (米国) *



人種／民族別新入社員率 (米国) *



シニアディレクター以上の女性リーダー



グローバル賃金公平性調査

私たちは、従業員に対する報酬に格差や不平等が存在するかどうかを把握するため、外部コンサルタントの協力を得て、2回目の自主的な賃金公平性調査を実施しました。

全体として、私たちは強力な報酬慣行とガバナンスを堅持しており、従業員は業績に基づいて給与を決定され、公正な報酬を受けていることが確認されました。

私たちの勢いは前向きであり、公正かつ公平な給与慣行を事業全体に浸透させていることを誇りに思います。

私たちのグローバル調査は、英国事業の年次男女間賃金格差報告に加えて行われたもので、その結果、やるべきことは残っているものの、私たちが導入したポリシーとイニシアチブの直接的な結果として、主要な指標は改善されていることが示されました。

[2021年度男女間賃金格差報告を参照。](#)

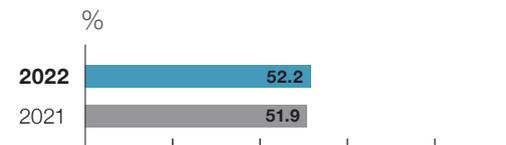
従業員データ評価

私たちは、採用から業績管理、定着に至るまで、従業員に関するデータと実践について独立した評価を行い、DEIの目標に対する進捗状況を測定しました。この調査結果をもとに、従業員総別にデータを集計し、3つの主要分野における機会を特定しました。人材獲得、人材管理、人材維持です。

私たちは現在、現実的で達成可能な短期目標を掲げ、データに基づいた3年間の戦略ロードマップを策定しています。これには、2025年までに上級幹部職の女性比率を13%向上させ、米国の人種的・民族的ダイバーシティの比率を8%向上させることが含まれます。

これらの目標を達成するためには、組織全体のリーダーが共に責任を負う必要があります。実際、すべての人事マネージャーは、DEI目標を個人目標の10%に設定し、業績管理システムに記録し、アニュアル・インセンティブ・プランを通じて管理することが義務付けられています。

女性の新入社員率



女性リーダーシップとインクルーシブ・リーダーシップ・プログラム

2022年、当社の国際地域は成功を収めた女性リーダーシッププログラムを継続し、11カ国から23人の女性リーダーが参加しました。この6カ月間のコースは、リーダーシップ能力を強化し、対人スキルを身につけ、新進女性リーダーが仲間やメンター、他のシニアリーダーとのネットワークを構築するためのプラットフォームを提供することを目的としています。11カ国で23人の女性リーダーが参加しました。

また、サントリーとのパートナーシップによる新しい女性リーダー育成プログラムも開始し、初年度はアジア太平洋地域 (APAC) から6名のリーダーが参加しました。

また、インクルーシブ・リーダーシップ研修プログラムを組織全体のシニアリーダー119人に拡大しました。このプログラムは、インクルーシブな職場をリードし、サポートするため

の能力とコンピテンシーをリーダーが身につけることを目的としています。

海外およびAPAC地域では、インクルーシブ・リーダーシップの能力をさらに高め、定着させるために、人事マネージャーを対象とした研修の機会も提供しています。

メンターシップ

グローバル・メンターシップ・プログラムを拡大し、メンターと指導を受ける人の組み合わせは2021年の20組に対し、72組となりました。このプログラムの目標は、メンターと指導を受ける人の間で協力的な学習環境と知識の共有を促進することです。各リーダーの知識、スキル、経験を活用することで、このプログラムは従業員にとって重要な成長と発展の機会につながっています。さらに、メンターと指導を受ける人は、定期的な学習・成長セッション、ネットワーキングの機会、祝賀イベント、健康診断を受けることができます。



* 給与労働者と時間給労働者。

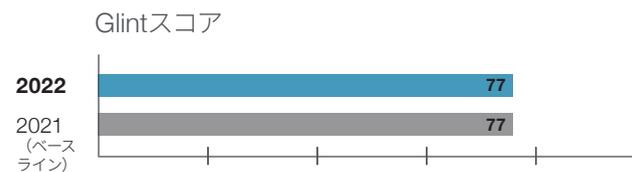
帰属意識を育む

私たちは、社員が意欲的に仕事に取り組むことが目標達成の鍵であることを知っています。これは定期的なエンゲージメント動向調査で測定され、従業員の幸福度、満足度、帰属意識などの主要な指標に関する洞察を得て、進捗を評価します。マネージャーは、より良い従業員体験を創出するために、チームと共に情報に基づいた行動を取ることができます。

2022年には、エンゲージメントに関する質問と、DEI、実行の障壁、意思決定、エンパワメント、コミュニケーション、チェンジマネジメント、成長、ウェルビーイング/燃え尽き症候群/バランスといった主要なトピック分野のベンチマークに焦点を当てた、2つのエンゲージメント動向調査を実施しました。

- どちらの調査も高い参加率を記録しました：4月は86%、10月は89%でした。
- この2つの調査のエンゲージメントスコアは80点と79点で、Glintのデータベースに登録されている全企業の上位15%に入り、当社の従業員のエンゲージメントが高いことを示しています。
- 帰属意識も4月は77でした。その一方で、従業員の真の帰属意識感覚を強めることができる従業員層を特定しました。

帰属意識



職場表彰

2022年、従業員のフィードバックにより、ビームサントリーは「選ばれる企業賞」に選ばれ、12カ国で20の賞を受賞しました。



従業員インパクト・グループと支援者ネットワーク

インクルージョン・カルチャーの内部からの提唱

人種、性別、性的指向、障害、年齢、兵役など、多様性のさまざまな側面において、見過ごされている疎外されたコミュニティを代表する従業員インパクト・グループ(EIG)と支援者ネットワークは、インクルージョンの推進に貢献しています。

こうした従業員主導のグループは、帰属意識を育み、重要な対話を促し、問題に対する新しい見方をもたらし、事業全体のイノベーションを推進しています。2021年以降、支援者ネットワークとEIGが成長し、EIGの会員数は30%、支援者ネットワークは50%増加しました。



Beam Vets (退役軍人従業員 + 支援者)

2022年のハイライト: James B. Beam Distilling Co. にて退役軍人の祝賀/福利厚生概要説明会を開催し、ビームサントリーと地元の退役軍人数百人を歓迎。



BOLD (黒人従業員+支援者)

2022年のハイライト: 160人以上の従業員を集め、人種の公平性と人種、経済、職場の関係についての教育フォーラムを含む、7回のBOLDトークを開催。



Harmony (アジア系従業員+支援者)

2022年のハイライト: 文化的な休日や機会を中心に8つの教育フォーラムを開催し、交差的な視点の探求に焦点を当てた3つのセッションを行い、各イベントに50人以上の従業員が参加。



PRISM (LGBTQ+ 従業員+支援者)

2022年のハイライト: LGBTQ+コミュニティにおける交差的な視点を祝い、コミュニティに影響を与えるストーリー、ニュース、スポットライトを共有することに焦点を当てた季刊ニュースレターを創刊。現在までに16号を刊行。



SALUD (ヒスパニック&ラテン系従業員+支援者)

2022年のハイライト: 30以上のブランドキャンペーンやイニシアチブに文化的洞察を提供



WISE (女性社員+支援者)

2022年のハイライト: 国際女性デーを記念し、交差的な視点に焦点を当てた2つの教育フォーラムを開催。



文化的・人種的認識 (支援者ネットワーク)

2022年のハイライト: 文化に対する認識と理解を深めることに焦点を当てた教育セッションを6回開催し、700人以上の従業員が参加した。



男女同権 (支援者ネットワーク)

2022年のハイライト: 国際女性デーのイベントに全世界で350人以上の従業員を招待し、スピーカーが協力関係、インクルージョン、エンパワメントのストーリーを紹介



メンタル・フィットネス (支援者ネットワーク)

2022年のハイライト: The Energy Projectと提携し、仕事と生活にもたらずエネルギーを管理するスキルを身につけることに焦点を当てたPeopleFuelとLeaderFuelプログラムを通じて、50人のリーダーと従業員を訓練



世代意識 (支援者ネットワーク)

2022年のハイライト: 全従業員を対象としたデジタルリソースを作成し、世代間の多様性に関する教育と意識向上を支援



LGBTQI+ (支援者ネットワーク)

2022年のハイライト: 国際プライド月間の年次イベントで350人以上の従業員をもてなす



ダイバーシティ (支援者ネットワーク)

2022年のハイライト: 障害者のアクセシビリティとインクルージョンに焦点を当てた2つの教育セッションを開催し、200人以上の従業員が参加

国際アライシップ・フォーラム

当社のインターナショナル地域では、DEI推進者が、世代意識、メンタル・フィットネス、障害、文化的多様性、男女同権など、重要なコンセプトやトピックに関する従業員の意識と理解を深めることを目的とした定期的な教育フォーラムやイベントを通じて、インクルージョンを推進し続けています。

推進者はまた、特権、公平性、無意識の偏見、自覚なき差別など、DEI関連の概念やトピックに焦点を当てた定期的な教育フォーラムを展開しました。2022年には1,115人の従業員がこのフォーラムに参加し、最初のモジュールはイベント後の従業員アンケートで高い満足度を得ました。



私たちは、EIGのリーダーシップが経営陣およびシニア・リーダーシップ・チームと定期的に繋がることが不可欠だと考えています。四半期ごとに両者のミーティングを導入し、EIGの戦略、課題、機会をめぐる会話やディスカッションが活発に行われています。これらのセッションを通じて、各EIGはエグゼクティブリーダーシップチームおよびシニアリーダーシップチームのエグゼクティブスポンサーと足並みを揃えることができました。

2022年を通して、各グループは10回以上のEIG横断教育フォーラムを開催し、交差的な視点に焦点を当て、2つ以上の社会から疎外された、あるいは見過ごされているコミュニティに属する人々の経験を共有しました。また、会員管理の統合と自動化を支援するイニシアティブを立ち上げ、2023年には、可視性を向上させ、影響の追跡をより良く行えるようにします。

メンタルヘルスとウェルビーイングの促進

さらに包括的な企業文化の構築に努める中で、私たちは従業員のメンタルヘルスと全般的なウェルビーイングをサポートする責任に重点を置いています。

2022年、私たちは60対40のハイブリッド・ワーク・ポリシーを導入し、オフィス勤務の従業員が仕事と生活を両立させるために必要な本来の柔軟性を提供すると同時に、現場重視で人間関係を基盤とし、人々を結びつける当社の企業としてのあり方に忠実であり続けることを可能にしました。

また、従業員をさらに支援するため、以下のような福利厚生強化も行いました。

- グローバル忌引方針を通じて、流産や代理出産の不調、養子縁組、不妊治療に対して有給休暇を提供します。米国で提供される最新の医療プランを通じて、性別適合手術のための美容サービスを提供します。
- Carrotを通じて、年齢、性自認、性的指向、病状に関係なく誰もが利用できる、市場をリードする家族計画および新しい親のためのサービスを米国の従業員に提供します。この福利厚生を通じて、従業員は家族形成教育リソース、医師とのバーチャルチャット、薬の割引、総合的な妊娠サポートなども利用できます。
- 対象となる米国の従業員に対し、母乳育児をしている親が出張中にいつでも自宅で母乳を受け取れるようにする発送サービス、Milk Stork®が利用できるようになります。

私たちは、子どもの誕生または養子縁組に際し、全世界の対象となる全従業員に対し、主たる介護者のための6カ月間の有給休暇を引き続き提供しています。

全従業員は従業員支援プログラムを利用することができます。このプログラムでは、無料かつ秘密厳守のアセスメント、即時のカウンセリング、コーチングサービスを提供しています。また従業員には、必要なときにいつでも精神的な休息をとれるよう、2日間の有給パーソナルケア休暇があります。これらは、有給休暇を取得し、同僚と一緒にボランティア活動に参加したり、自分が大切にしている活動を支援したりするために、対象となる従業員が利用できる3日の「ビームサントリーケアーズデー」に加えて実施されるものです。



私たちの産業

強固なサプライヤーダイバーシティプログラムを確立し、業界全体で協力することで、地域社会における経済的インクルージョンを支援し、将来の飲料業界の専門家を育成するために投資します。

目標*	目標年	ベースライン年	ベースラインデータ	2021年に対する2022年の進捗	ベースラインに対する2022年の進捗	状況
サプライヤーダイバーシティ戦略と2023年ロードマップを構築する。	2023	2021	--	完了	完了	●

● 軌道に乗っている ● 軌道から外れている ● 完了

私たちは、事業とブランドを通じて多様なサプライヤーに経済的機会を創出することにより、成長とインパクトを促進することを目的とした、初のサプライヤーダイバーシティプログラムを開始しました。

経済的インクルージョンの育成

多様なサプライヤーベースを持つことで、新しい視点や革新の源に触れることができ、競争優位に立てるということを私たちは知っています。これにより、私たちのサプライヤーが、私たちの消費者、顧客、そして私たちが生活し働く地域社会を確実に反映するようになります。

2022年、私たちはサプライヤーダイバーシティプログラムを開始しました。これは経済的インクルージョンに重点を置いた取り組みです。このプログラムの目的は、私たちの事業とブランドを通じて多様なサプライヤーに経済的機会を創出することにより、成長と影響を促進することです。

広範なベンチマーキングとサプライヤーダイバーシティのベストプラクティスの活用を通じて、私たちは2030年のロードマップと公平性とインクルージョンをビジネスのやり方に組み込む社内フレームワークを備えたグローバル戦略を確立しました。

サプライヤーダイバーシティプログラムには3つの戦略的優先事項があります。



1. 2030年までに多様性のある支出10%という業界標準を達成または上回ること
2. 多様性のあるビジネスの参加と活用の最大化
3. 私たちが暮らし、働く地域社会にプラスの経済効果をもたらす

こうした取り組みを支援し、従業員がより包括的な購買決定を行えるようにするため、私たちは全社的な新人研修ツールを導入し、グローバル調達ポリシーの中にサプライヤーの多様性に関する指導原則と手順を組み込み、全従業員を対象としたポリシー研修を実施しています。

2022年、私たちは5つの外部組織とパートナーシップを確立し、何千もの認定を受けた多様性のある企業のネットワークに加わり、多様性のあるサプライヤーエコシステムの発展に貢献します。このようなパートナーシップを通じて、私たちは以下のような疎外され、見過ごされているグループを支援するネットワークの一員となっています。

- **障害**: IN障害者インクルージョン
- **NGLCC**: 全米LGBT 商工会議所
- **NMSDC**: 全米マイノリティ サプライヤー開発評議会
- **NVBDC**: 全米退役軍人 ビジネス開発評議会
- **WBENC**: 女性のビジネス企業 全国評議会

私たちの業界で公平性を推進する

NextUp

NextUp (旧: Network of Executive Women) のパートナーとして、私たちはより多様性に富んだ職場づくりに必要なツールを特定しています。NextUpのパートナーとして5年目となる2022年には、米国とカナダで225人のビームサントリーチームメンバーがネットワークの一員となりました。当社のメンバーは、221を超えるイベント(対面およびバーチャル)に参加し、58人のリーダーがNextUpの公式な学習・成長プログラムに参加しました。

The Blend

The Blendは、ホテル業界のプロフェッショナルのためのグローバル・コミュニティであり、世界中から集まったこの業界で最も優秀な人たちによって提供されるクラス、記事、ビデオ

オなど、キャリアのあらゆる段階にあるプロフェッショナルのためのリソースを提供しています。

今年で2年目を迎えるThe BlendのRefireシリーズでは、リアルタイムで話す講演者が、ホテル業界が現在直面している問題や懸念を取り上げ、斬新なアイデアや視点を提供します。Refireは、戦略、解決策、実行可能な変化を促すことで、DEIと、業界により包括的で共感的な未来を構築するというThe Blendのコミットメントを象徴しています。

DISCUS/Pronghornパートナーシップ

2022年、私たちはDISCUSのメンバーやPronghornと協力し、蒸留酒業界やそれに関連する職務のインターンシップからエグゼクティブレベルまでのポジションに就く有能な候補者を黒人コミュニティ内から発掘する取り組みを行いました。このパートナーシップは、大手スピリッツ・サプライヤーにおける黒

人コミュニティからの雇用を増やすことを目的としています。

当社のチーフ・ダイバーシティ&インクルージョン・オフィサーはまた、DISCUSの多様性、公平性、インクルージョン委員会の副委員長も務めています。この委員会では、現在および次世代のスピリッツ業界のプロフェッショナルのために、よりダイバーシティで公平かつ包括的な機会とキャリアパスを構築する取り組みを強化し続ける中で、DISCUSメンバー企業が率先して行う緊急および長期的な行動を特定し、定義しています。

STEPUP財団

2022年に当社はSTEPUP財団に参加しました。このダイバーシティ・イニシアチブは、1年間の総合的かつ集中型のインターンシップ・プログラムを通じて、十分な経験を積んでいない人々や見過ごされている人々にトレーニングや励ましを提供し、クラフトスピリッツ・コミュニティに参加する機会を提供することを目的としています。今年で2年目を迎えるSTEPUPは、飲料部門に関心を持つダイバーシティ志願者を引き続き取り込み、人種、肌の色、国籍、性別、障害、性的指向の異なる志願者が業界で成功するために必要なスキルと経験を習得できるよう支援します。



研究に基づくプログラムの推進

2019年、私たちはケンタッキー大学にJames B. Beam Institute for Kentucky Spirits を設立し、次世代の蒸留酒製造者を教育し、労働力プログラム、科学的発見、業界パートナーシップ、持続可能性イニシアチブを通じてバーボン業界を発展させることを目指しています。

また、このパートナーシップを通じて、現在および将来の飲料業界の専門家の成長を支援しています。例えば、当研究所はJames B. Beam Distilling Co.と提携し、ケンタッキ

ー州教育労働内閣が認定する世界初のウイスキー教育プログラム、James B. Beam Whiskey Apprenticeshipプログラムを設立しました。このWhiskey Apprenticeshipプログラムには、James B. Beam Distilling Co.のオペレーター向けに準備された200時間の技術教育コースが含まれます。実習生は、安全、バーボン穀物、バーボン工学、発酵、スピーチ、顧客対応、感覚、熟成、蒸溜所科学など、充実したカリキュラムを受けることができます。



地域社会

地域社会への還元は、私たちのDNAの一部です。企業、ブランド、従業員主導の取り組みを通じて、私たちは強靱で公平なコミュニティを支援しています。世界中で、重要な活動を行う信頼できる団体に資金を提供するとともに、私たちの時間やスキルを提供し、ポジティブな変化をもたらしています。

目標*	目標年	ベースライン年	ベースライン・データ	2021年に対する2022年の進捗	ベースラインに対する2022年の進捗	状況
私たちが暮らし、働いている地域社会に100万時間のボランティア活動を還元する。	2030	2021	6,633	12,260 ボランティア時間	18,893 合計ボランティア時間	●

● 軌道に乗っている ○ 軌道から外れている

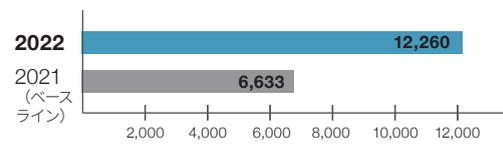
時間を提供し、専門知識を共有する

ボランティア活動や社会貢献活動は、社員が地域社会に貢献するための重要な手段の一つです。

対象となる従業員には、年に3日、有給休暇を利用してボランティア活動や社会活動に参加できる「ビームサントリーケアデー」を活用することができます。Harmony EIGのメンバー数名は、ビームサントリーケアデーを利用して、ロサンゼルスにある日系アメリカ人文化コミュニティセンターとの友好関係を深め、アジアや太平洋諸島の人々の声を尊重するため、リトルトーキョー・スパークルと呼ばれる地域清掃活動に参加しました。このようにして当社の店舗形態の顧客を含む地元のアジア系ビジネスをサポートしました。

4Goodプラットフォームを通じて、ボランティア時間を記録し、新たなボランティア活動の機会を提供しています。2022年には12,260時間を地域社会に寄付し、その大部分は毎年恒例のグローバル・サービス・イベント「Together for Good」を通じて行われました。

ボランティア時間



私たちは4月と5月に第3回目となる「Together for Good」を開催しました。12カ国にまたがる**1,000人以上の従業員**が、以下のようなさまざまな地域貢献活動で**4,700時間以上**のボランティア活動を行いました。

- 地区公園での植樹と保護活動
- 公園、海岸、水路のゴミ掃除
- フードバンクへの支援
- 知的障害者と働く

利益三分主義

米国では従業員の寄付金と1対1のマッチングを行うなど、世界中で、私たちが生活し働く地域社会を支える重要な活動を行っている団体のために資金を集めています。

2022年には、社会正義、経済的インクルージョン、芸術・文化、環境保護、危機・災害救済に焦点を当てた地域活動や団体に250万ドル以上を寄付しました。



* サントリースピリッツ(株)を除くレガシー・ビーム 事業所のハイライト。

災害支援のサポート

私たちは、危機的状況や自然災害の際に、社員や近隣住民を支援することを約束します。

2022年8月にケンタッキー州東部が壊滅的な洪水に見舞われた後、私たちはケンタッキー州東部の人道的救済活動を支援するために10万ドルを寄付し、その資金は3つのパートナー団体(米国赤十字社、Feeding America-Kentucky's Heartland、ケンタッキ

ー州が設立したチーム・イースタン・ケンタッキー洪水救済基金)を支援しました。また、ウクライナの人道危機を支援するために10万ドルを寄付し、その資金を世界的な赤十字ネットワークを支援するアメリカ赤十字と、現地で避難所や食糧、医薬品を必要としている人々に提供する国際救済委員会(IRC)で分けました。



ブランド主導の地域貢献とパートナーシップ

Maison Courvoisier™ 黒人とマイノリティが経営するフラワーショップを祝う

Maison Courvoisierのホリデー・イン・ブロッサム・プログラムは、2022年のホリデーシーズンにマイノリティが経営するフラワーショップにスポットライトを当てました。これらのフラワーショップは、全米13の市場にまたがり、全米アーバンリーグ支部との提携により特定されました。各ショップは「コニャックの花束」を特別に制作し、オンラインで購入できるようにしました。花束の売り上げはすべて、参加した中小企業に直接還元され、Courvoisierは起業家精神センターのプログラムを支援するため、ナショナル・アーバン・リーグにも資金を寄付しました。この取り組みは、ブランドの慈善活動プラットフォームである「Foundation 1828™」の一環であり、2020年に結成されたナショナル・アーバン・リーグとの複数年にわたるパートナーシップで、米国内の黒人やマイノリティの中小企業経営者や起業家を支援するために、5年間で100万ドルを寄付することを約束しています。

Gin for a Good Cause

2022年9月、Sipsmith®は、英国の生垣の多様性と恵みを称えるためにデザインされた、熟練の手仕事によるジン、Very Berry Ginをリリースしました。1% for the Planet®とのパートナーシップのもと、Sipsmith®はVery Berry Ginの全ボトルの売上の1%をThe Felix Projectに寄付することを約束しました。このプロジェクトは、売ることのできない良質な食品を救って、困っている人たちのための慈善団体に届けるものです。これにより、食事を必要としているロンドンの人々に4万5,000食を提供し、18.9トンの食品を廃棄されないようにしました。

Island Spiritとの提携

The Cruzan Rumのチームは、米領ヴァージン諸島および全米の災害救援を支援するため、アイランド・スピリット基金を設立しました。この支援には、気候変動との闘いにおいて重要な防衛線でありながら、自然災害によってしばしば流されてしまう樹木の植え替え支援も含まれます。

2022年には、この基金のおかげでプエルトリコのProtectores de Cuencasは6,812本を植樹することができました。また1年を通して、異常気象の影響を受けた島の一部を再植林するため、苗床で1万2,000本の原生種の苗を育てました。

アイランドスピリット基金 インパクト 2022



\$5M

これまでの調達額



9

非営利パートナー数



6,812

本の植樹



22,747

時間のボランティア
または有給労働時間



863

人の顧客がサービスを受ける



467

件の住宅の建設または修理

Sipsmith®の地域社会への還元



Sam Galsworthyは、2022年の私たちの歩みを振り返って、次のように述べました。「Bコーポレーションの旅に出たとき、その仕事の大きさがどれほど大変に思えたかを思い出します。それで私たちがここまでできたことを考えると励みになります。長期的な目標である "世界最高のジン" に向けて、将来はさらに有望です。」2022年、私たちがどのように地域社会に貢献したかをご紹介します。

ボランティア

ロンドンが私たちの本拠地であることを誇りに思い、2022年もボランティア活動プログラムを通じて地域社会や慈善団体を支援しました。

439

2022年のボランティア総時間数

18.67%

2021年からのボランティア活動時間の増加

2月の世界湿地デーには、13名のスタッフがバーズにあるロンドン湿地センターでボランティア活動を行い、地元の野生動物をサポートしました。5月にも11人のチームがボランティアとして参加し、湿地保全作業や雑木林の手入れ、遊歩道の補修などに熱心に取り組みました。

Felix Projectはまた、チーム・ボランティア・デーを数回開催し、31人のスタッフが再び、余剰食料を必要としているロンドンの人々に配給する手伝いをしました。

資金調達

2022年、私たちは1% for the Planetに参加し、地球上で最も差し迫った環境問題に取り組む企業、個人、環境パートナーのグローバル・ネットワークの一員となりました。会員制のもと、2022年のウインターリキッドであるVery Berry Ginの利益の1%を寄付しました。

1%

FOR THE
PLANET

BAR OF SMITHERY

2021年のBar of Smitheryの立ち上げに続き、2022年には米国のアンバサダーがそれぞれの市場でSmitheryのイベントを開催しました。ニュージャージーとロサンゼルスで開催されたTiki Festsとの提携もそのひとつで、バーテンダーたちのチームが飾り付けられたティキ・カクテルを作ることに挑戦しました。カクテルを完成させた後、各チームは飾り付けに使った残りのフルーツの重さを量り、廃棄される食品の量を示したのですが、その結果に誰もが驚きました。

45,000

食が困っているロンドンの人々へ供給

£10,000

FELIX PROJECTへの寄付

18.9

トンの生ごみ転用





ビーム
サントリー

Doing Business the Right Way

このセクションでは

37 誠実な企業活動

Doing Business the Right Way (正しく事業を行う)

私たちは、最高水準の行動規範と倫理的なビジネス慣行を遵守することを約束します。私たちの営業許可と企業の成功は、従業員、サプライヤー、オーナー、そして私たちが生活し働く地域社会との間に信頼を築き、その評判を維持することにかかっています。

誠実な企業活動

信頼は私たちのビジネスの中心です。私たちのガバナンスの取り組みは、リーダーやチームに対する毎年のインセンティブに支えられた、一連の堅固なポリシーと慣行によって導かれています。

私たちのアプローチ

当社のProof Positive戦略は、当社の価値観に支えられ、以下のような厳格なポリシーと基準に根ざしています。

- 倫理行動規範
- サプライヤー行動規範
- グローバルシチズンシップポリシー
- マーケティング行動規範
- 米国蒸留酒協会 (DISCUS) 責任ある行動規範
- ハラスメント対策ポリシー
- グローバル調達ポリシー
- グローバル贈答と接待ポリシー

すべての従業員は、当社の評判を代表する者であり、不正行為を見抜き、防止するための積極的な役割を果たすよう権限を与えられています。

アニュアル インセンティブ プラン

私たちは、2022年に初めてProof Positiveサステナビリティ・メトリクスをアニュアルインセンティブプランに盛り込み、私たちのリーダーや従業員が目標を推進する責任を負うようにしました。目標は毎年交代で設定されます。

2022年は、水削減とDEIの目標をそれぞれ10%の重み付けで盛り込みました。これらには以下が含まれています。

- 事業所の節水目標を超過達成し、オフィスでの水使用量を削減する
- すべての人事マネージャーは、個人目標に具体的で測定可能なDEI目標を設定

節水目標は達成しましたが、DEI指標は達成できませんでした。2023年には、すべての人事リーダーに対し、個人目標に測定可能なDEI目標を設定することを義務付け、リーダーには、有意義で達成可能な目標を設定する責任を持たせることを約束します。

エクイティと人権

2019年に制定した「サントリーグループ人権ポリシー」、ビームサントリーの「グローバル・シチズンシップ・ポリシー」に基づき、バリューチェーン全体ですべての人々の人権を守る取り組みを推進しています。私たちの責任ある調達戦略は、風評リスクと現実化したリスクの両方を管理することを目的としており、私たちは労働者の権利、安全衛生、環境指導の最高水準に沿った行動を継続的に取っています。

事業活動において雇用機会均等に関する声明で述べているように、当社はすべての採用決定は応募者のスキルと経験に基づいて行われます。私たちは、公正かつ平等

な給与慣行への取り組みについて、UK Gender Pay Gap Report (英国の男女間賃金格差レポート)で報告しています。

私たちは、サプライヤーに対し、持続可能性の目標に対する明確な期待を示し、潜在的なリスクを回避し、労働条件を改善するために、是正措置を含め、積極的にフィードバックすることを約束します。サプライヤー・エシカル・データ・エクステンジ (Sedex) のサプライヤー監査質問と倫理的取引監査を用いて、私たちは毎年サプライヤーを評価し、児童労働や強制労働などの人権問題、職場の安全や環境保護に関する配慮に焦点を当てています。



2022年には、CSR、持続可能性、規制、コンプライアンスに基づくリスクに関する25の主要なグローバル指標を含む、企業の社会的責任 (CSR) と持続可能性リスクの分類について、より包括的な見解を策定しました。また、これらのグローバル指標に加え、Sedexのエンゲージメント要求、自己評価質問書 (SAQ)、リスクの高いサプライヤーのSMETA監査を含む、サプライヤー承認のための意思決定ツリーも設計しました。

2023年には、要求されるSMETA監査プロセスの結果に基づいて「高リスク」とみなされるサプライヤーに対処する計画を実施しています。これは、サプライヤーがSedexや、SMETA監査を依頼する際に、管理統制のスコアを上げるのに役立ちます。監査結果を受けて、サプライヤーは必要に応じて是正措置計画を策定し、コンプライアンス違反が報告されてから6ヶ月以内に対処および/または解決されることを期待します。

私たちは、業界のベストプラクティスを使ってベンチマークを行い、人権デュー・デリジェンス活動の範囲を拡大・強化するために、この作業に優先順位をつけていきます。

健康と安全

私たちは、グローバルな「Zero Harm」ビジョンを掲げ、従業員、請負業者、顧客、地域社会の健康と安全に対して妥協のない取り組みを行っています。

従業員には安全な労働環境を提供し、職場での事故や怪我を最小限に抑えるために、トレーニングを含むあらゆる合理的な手段を講じています。認定された強固な安全管理システムにより、実績を監視し、継続的な改善を推進しています。

2022年末までに、2つの重要な指標における当社の実績が、この分野の平均を大きく上回ったことを報告できることを誇りに思います。私たちの事業におけるリスクの高い危険の排除に絶え間なく注力した結果、世界トップクラスの重傷災害度数率 (SIFR) 0.00を達成しました。これは4年ぶり3度目の快挙です。

記録可能なインシデント総発生率⁴

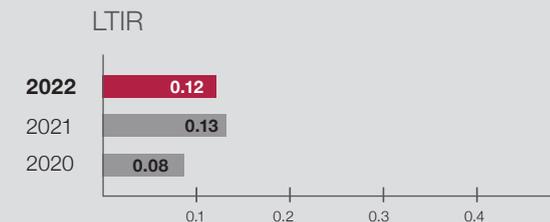


50%
の削減
(2016年を
ベースライン
として)



6x
業界平均よ
りも優れて
いる

損失時間インシデント率⁵



85%
の削減
(2016年を
ベースライン
として)



15x
業界平均よ
りも優れて
いる



4 引用: 米国労働省 (2021年) 米国労働統計局「傷害・疾病・死亡者数 (IIF)」。

5 Ibid.



詳しくは: www.beamsuntory.com

11 Madison Ave
New York, NY 10010
United States

DRINK  SMART®

© 2023 Beam Suntory, Inc., New York